

2 - 1 . 学校アンケート結果 (自由回答)

問 2 5 民間テニス事業者との連携に関して事業者に望むこと

<p>学習と部活動の両立という学校の立場をよく理解してほしい。料金設定に配慮してほしい 屋内施設を短時間でも開放してほしい (特に雪の多い冬場)</p>
<p>北海道は 11 月上旬～翌年 3 月まで戸外で練習できずその間体育館の利用が殆ど不可能に近い状態にある。そこでシーズンオフには筋肉トレーニング 1 時間くらいを校内で練習する。そして週に 1 回スクールに通わせ第 2, 4 土曜日と毎日曜日の早朝 (スクールが始まる前の時間帯を利用...2 時間くらい) スクールのコート借りて練習している。テニスの問題は費用がかかることだ。個人的にはガット及びガット張り代、スクールの費用 (1 ヶ月週 1 回で 5000~6000 円) そしてレンタル費用でオフシーズン 1 ヶ月一人 10000 円はかかる。ガット代及び張り代一月につき一人 6000 円程度と併せ、交通費も含めると 20000 円近くかかるのが難点。</p>
<p>コート使用料等が高く利用しにくい面がある。(特に新潟では 11 月中旬より 3 月上旬まで降雪があり、学校のテニスコートが使用できない)</p>
<p>本校には該当しないが学校と民間施設が比較的近くにある場合は平日等に安価で提供開放する方策も考えられる。</p>
<p>生徒の意識の差が大きいので、とにかく強くなりたいという生徒には民間との連携も有意義だが、そんな生徒はそれほど多くはないので現実には難しい。</p>
<p>学校テニスとスクールのテニスの指導の違いが連携を難しくしていると思う。あくまでも学校の部活動には限度があり、学校のルールの上に成り立っているのでスクールのテニスという個人の問題以外のものもある。民間のテニスはレベルも指導力も高く、学校でやっているものとしては本当に技術指導をしてもらいたいのであるが、テニスという個人種目であるためクラブの集団性、協調性といった面で難しさを感じる。</p>
<p>学校内での活動は全て生徒指導であり、スポーツだけを指導するわけにはいかない。そのことを理解できないものは学校との連携を組んだ時トラブルを起こしやすい。したがって部活動とスポーツ進行は別に考えたほうが良いと思う。</p>
<p>利用に関して高額であり負担が多すぎる 指導に関しては馴れという言葉はふさわしくないがマナー面の不足が感じられる。厳しくすると生徒がいなくなるため。テニス業者の場合は一般的に甘い テニス指導者はプレーを指導する前に人間的教育面を受けてもらいたい。例えば大学という教育原理や教育心理という分野を学習してもらいたい。</p>
<p>テニススクールで使用したテニスボールを学校に寄贈していただいたことがあるが、部員数の多い学校では大変変わる (現在校では部員が少ないので予算面では余裕があり、ボールもたくさん買えるようになった) 学割等の制度があれば生徒もナイターでスクールを受講したい意向もある。経済面での問題とテニスクラブへの交通手段が解決できればもっと連携したいと思っている。</p>
<p>今まで全く考えたことがないのでこれから研究してみたい。</p>
<p>利用料金が高く生徒が日常的に利用できる状況にない 生徒が活動する時間帯は一般の利用客が多く活動できる余地がない。</p>
<p>我々は部活動を生徒指導の一環として捉えている。いわゆるジュニア経験者 (民間テニス事業者に育成された選手) にマナー等の面で問題の有る者が多いのが残念ながら事実ではないかと思えます。特にジュニアの育成に関しては、人格形成も充分念頭において指導していただきたいと思うことが良くあります。</p>
<p>仕方がないことですが費用が高いのがネックなので、特別割引をしていただくと有難い。</p>
<p>定期的に学校の部員を呼んで指導できないものか 学校との交流が出来ると思う。</p>
<p>高校の部活動における活動費は僅かなものなので、テニスコート使用の費用を安い値段にしてほしいと思う。そうであれば民間のテニスコートを借りることは出来ないと思う。</p>
<p>[施設利用] 利用料金をボランティア的に殆どかからないことが第 1 条件 帰途等の時間が女子部員においては心配であるので保護者の送迎も考慮しなければならない。[学校利用] 学校行事や日課変更があるとき、教職員と指導者との連携を密にしなければならない コート、倉庫、ボールの管理(予算執行は学校)等で指導者が満足しないであろう。 現実に現在のソフトテニスの年間部費はたった 31000 円です。そのほか一切有りません。</p>
<p>地域的にテニススクール等から離れており、生徒の利用等には少し無理がありますので、指導者の指導及び関係情報(テニスの練習法等)を流していただけたら助かる。</p>
<p>利用料金が高い。指導者のレベルのばらつきがある。地域スポーツとしての位置付けが必要。</p>
<p>民間のテニスクラブはお金がかかる場所に問題がある。積極的に連携をとればレベルアップにもつながり良いと思うが、学校では金銭的に無理な面も見られる。もし可能であれば、施設が充実(例えばナイター)一緒に練習してくれる方が多くいれば今すぐにでも協力してやっていきたいと思う。</p>

学校の状況をよく理解した上でないとなかなか踏み切れないところがあるので、どれだけ学校のことを理解してもらえるかということが心配 技術的な面もそうだがクラブ活動の中で『勝つ』ことにこだわった場合それに対応した指導を教員と話し合いの中でやってもらえるのだろうかという心配があり、その辺の情報があまりにも教育の現場になさすぎる。

学校で全てを掌握して指導することは大変困難な。状況になってきました学校教育におけるクラブ指導と社会教育(生涯学習)におけるスポーツクラブが現状では明確に分かれています、学校の部活が社会のクラブにスムーズに移行できるようになるといろいろな面でよいのではないかと思います。今後学社連携が進んで行くと考えられるので、学校としても対応を早急に考える必要があると思う。

教育活動の一環としてやっている学校の部活動と、勝つことを目的に(強くなることを目的に)することによって生徒を確保する民間のテニス事業者とは相容れないと思われる(高校生の場合)。世界に通用する人材の育成や大会で優勝する人を育てることも必要であるが、それは一部であり、それより日常的にスポーツを楽しむ大勢の人に目を向けなければならない。民間のテニス事業者はその区別をしてそれぞれの目的にあった指導を続けてもらいたい。今の状況は営利のこともあるのか強くなる人を育成しているように感じる。ただこれは事業者の問題というより事業者にそういう事を望む受講生の問題のほうが大きいと思われる。

本校のコートはクレイコート管理が大きな問題になっている。現在のコートはオールウェザーが一般化しているが、対外試合等の時に後始末のやり方が問題です。コート等の管理等の指導もしてほしいと思います。また、学校では担当者がテニスの未経験者も多く、外部コーチと技術的な意見の違い等も有ります。このような折り、困ってしまうこともあり頭を痛めています。何か良い方法はないでしょうか?最終的には担当者の技術を向上するか、校内の指導体制を充実させる意外に方法はないと思います。

連携や施設利用は望んでいます費用の面のことが問題となると思う。

本校では夜間練習の設備がないので希望者に対して校外の施設で練習をしている。体育館も含めて活動場所は様々であるが公営のナイター設備のあるところは全てオムニコートかハードコートであり、クレイコートは近くにない。そこで民間のクレイコートを利用しているが、やはり料金的に負担が大きいので、中学生が利用する時には割引で出来るように配慮していただければ有難いと考えている。

特に費用の問題は大きな壁であり、積極的に連携を考えるには至らない。しかし施設の充実は非常に魅力があり、雨天時に友好活用が出来れば有難い。

利用料金を検討してほしい(高校生特別料金)。

実際テニススクールに通っている子もいてサーブ等では効果が現れやすいが、しっかりした子でないと他の部員間に問題が起きることもある。生徒はやはり試合に出れば勝ちたいと思っており、スクールでやっている子はジュニアの大会等では殆どそうであるが、セルフジャッジに慣れており、そのセルフジャッジの精神を正しく理解していないため、高校生の公式の大会で審判がついたときにマナーの悪いという生徒を他校でよく見かける。俗にいう中途半端なジュニアである。もし指導してくれるならそこらへんも指導してほしい。また時々施設を利用させてもらおうが、料金が高い。もっとリーズナブルな料金だとより多く利用できると思う。

民間テニス事業者が学校の部活として入ってくることは賛成するが、費用の面での困難さがあるかと思う。コートと費用さえ確保されれば GOOD である。

学校の方針を十分理解していただき、かつ費用もかからないような場合は是非ご協力をいただきたいが、かつて外部にお願いしてトラブルを起こしたことがあった(他の部で)。

ここ数年で私の行っていた民間テニス事業者は殆ど倒産し、せつかくの良いコートやインドアコートが壊されマンション等になってしまっている。救済して欲しかった所が多かった。そんな経営難が多いと思われる事業者との提携などは実質問題可能なのか?出来るならば定期的にプロ指導者に来てもらえたりすると大変有難い。私個人としては学生時代にやっていたというだけでくわしい指導者にはなっていないので...

学校教育の中で部活動の占める割合は多い。礼儀、マナー、集団生活、しつけ等子供たちはその中で育っていく。だから民間に指導をうつすことになればその点が心配だ。技術面だけでなく精神面での指導を大切にしてほしい。

個人の資格でクラブ等に加入して活動するのであれば一向に構わないと考えます。教職員が指導しなければならないとなれば大変です。学校の延長線上でなければ大いに活動して結構です。(保護者の責任で)また学校が口出すことでもないとはいけません。

連携や施設利用に関するのではないが...人により考え方は様々でしょうが...若い人のスポーツ=学校の部活動といった閉塞した現状から、若い人のスポーツ=地域のクラブ(常に人々に開放されている形の)といった開放された自由な有り様へと変わっていったら良いと思います。スポーツは互いを縛りあってするものではない。もっと自由な時間、自由な意思のもとにのびのびと楽しく行うものだと思う。自分が望む時に近くに使える施設が有り、自分が教えて欲しい時に近くに適確な指導を与えてくれる人が居てくれたら、それが最高だと思う。

<p>連携することのメリットはやはり技術的なものになると思うが、部活動は基本的には学校教育の一環という面を見逃してはいけない。いわゆる身体の健康ということと礼儀とか現在では批判されることが多いがその点も含めた教育であるという面が大きいので、それを忘れなければ連携は出来ると思う。私はスクールにも通い、テニス部の顧問でもあるのでその点がどうなるのか気がかりである。昨年の全国大会であるコーチ(民間)が選手に試合前か試合中か忘れましたがビールを飲ませてしまった事件があった。それは勝つことに集中するためにそのような結果になってしまったのではないかと私は懸念している。民間の業者と連携すると生徒を食べ物にされてしまうのではないかと心配が私にはいつでもある。その点がうまく解消されれば良いと思っている。</p>
<p>金銭的な問題が一番大きいです。格安で時間帯も授業終了後(4時頃～7時)にあわせていただけるのか。</p>
<p>技術の指導だけでなくその他の指導もお願いしたい。</p>
<p>技術のみならず、生活全般を含めた指導を心がけてほしい。ジュニアのピアスや茶髪は気になる。</p>
<p>テニスコート代を安くしてほしい(出来れば無料)その代わりにコート整備等を協力する テニススクールの指導者は営利目的や勝利至上主義に走らず、教育の一環として指導をして貰いたい。</p>
<p>専門的な技術指導とともにオムニコート等の利用により、より充実した設備で練習をさせてやりたい。以前アルバイトコーチとして働いていた経験から言うと、大人との練習、ジュニア育成の面でテニスクラブの方がより進歩していると思う。</p>
<p>費用の低下。</p>
<p>ウイークデイに安価にコート、指導者を提供して欲しい。</p>
<p>高校レベルでは可能である 営利的なトラブルが不安 将来的にはその方向が適切と思う 先ずは中体連の考えが変わらない限り進展しない。</p>
<p>初めての部活動指導で、しかも未経験のソフトテニスということで十分な指導が出来ず困っている。出来ることなら民間の事業者いろいろな面で助けていただきたいと思うことがよくあるが、財政的に無理だろうし、個人的な意見なので何も言えない状態である。</p>
<p>生涯スポーツとして硬式テニスの位置付けはもっと中学校からも部活として積極的に取り入れるべきだと思いますが、ソフトテニスからの移行が生徒の抵抗があって難しい。週1回テニスコートを借りるという形で硬式をスタートさせ生徒たちはその楽しさから活発に活動しているが、外部のコート公共で1面1H1000円、校区にテニスのスポーツクラブがあるが3000～3500円かかり、費用的に問題があり使えない。今近くの高校のテニスコートを空いている時に使わせてもらえるように依頼しているが、高校のテスト期間と中学のテスト前が重なって使えていない。硬式が世間では一般化され、経験している教師もいるのに民間テニス事業者の協力があるとすごく助かるのですが、そのスクール生(ジュニア)が部員として学校の中でも楽しく活躍しています。</p>
<p>生徒が個人的に放課後利用することは問題ないと思われる ただし一般の方々と一緒になって飲酒、喫煙等があると困る 学校内に民間事業者が入ることについてはまだこれからいくつも乗り越えるべき課題があるように思われる。</p>
<p>施設は無料に。</p>
<p>試合前の降雨等で学校のコートが不良の場合に料金の面で配慮していただきたい。生徒の数が20名程度だから3面くらい利用させてもらえば助かると思います。前任校の時はクラブオーナーのご好意で空いているコートを使用させていただき、生徒たちも環境が変わったコートで練習できて喜んでいました。(人工芝で練習する機会がないので)私個人としては、スポーツは人間を確実に育てると思います。全国大会にも生徒に連れて行ってもらいましたが、いろいろな選手とゲームをしたり、他校のコーチ、顧問からアドバイスを受けるなど様々な機会を通して人間的に成長するものと思います。ただ、半分プロ化しつつある選手を集める傾向が見られるのが気がかりです。育てることを忘れつつあることを心配します。</p>
<p>将来テニス部及び同好会を設立した場合、練習用の中古テニスボール等の提供をお願いしたい。</p>
<p>本校のテニス部は過去3面のコートで活動していたが、3年前にコートがなくなった。現在民間のクラブをお借りし活動している。(使用料はクラブ側の特別なはからいで格安かつ学校と生徒会からの補助で生徒の負担は10月～2月までのナイターのみ)と恵まれている方とも思うが、土曜・日曜の時間が多く取れる時逆に民間なので時間の制約がある。普段はともかく土日祭日の多くの時間が練習する場が欲しい。</p>
<p>本校では数名が行っているが応援している。全国大会や海外まで行っている生徒もいる。学校長の采配で公欠の時もある(出席扱いで試合に行っているときもある)</p>
<p>施設等を安くお貸し願いたい。</p>
<p>清水市ではかつて中学校にクラブ活動として(週1回)存在したことがありますが今はどうでしょうか。高校生になるとソフトテニスの経験者が硬式テニスに移る生徒が多いので民間のテニス事業者が学生割引で利用できるように(かなり安い値段で)便宜を図っていただけたらと思います。地域に小、中学生対象のテニス教室が(市のスポーツ事業として)たくさん開かれるとテニス人口は増えるのではないのでしょうか。</p>

非常に興味深い取組みで大いに期待したいと思います。(書面では思うことが多すぎて伝えられないのでゆっくり話し合えるような場があるといいと思います)学校の現場ではやはり指導者(顧問の先生)が、その人の考え方で様々にやっているのが現状です。それでも多くは(勝利至上主義、先生の自己実現のためにやっている、というようなスタイルは前時代的のものになっていて)このアンケートにあるように[健全な人間の育成]を目指して頑張っている先生が殆どです。頑張っている人は...ですが。そういった方々は自分自身の中・高時代の部活動が現在の自分にとって大きな良い影響を与えている体験を元にしてしています。ただ、学校の先生が部活にエネルギーと時間を注げるのはわずかしが許されません(これが意外とそうは思われていないのです...)そんな中で生徒一人一人の人間育成のために民間の方とうまく連携していくということはすてきであり、重要です。そして実現不可能なことでもありません。実際(愛知県では)部活の顧問と民間の方々の方は互いに良く知っていて、話もしていますし、目的も似ているところがあります。このプロジェクトどんどん進めて欲しいと思います。

講師指導の料金が安くなったらと思います。夜間利用が出来るようになると良いのですが。

経費の問題 学校教育に対する理解 将来的な(日本全体の)スポーツに対する取組み 中体連の扱い、等の問題の解決が必要と考える。

高校生以下の生徒児童に対して実技だけではなくテニス(スポーツ)のマナーも指導して欲しい。全員とは言えないがそのような生徒が多い。要するに技術だけにこだわりすぎているように思える。

民間テニス事業と学校部活動は全く別のものと考えている。従って学校外での活動は全く把握していない。個人でテニスをしている生徒があり、大会での表彰は校内でしている。

本校にソフトテニス部はなく、学校創立時より硬式テニス部しかありません。また高い技術を持った指導者が不在のため、民間の方にコーチを依頼しています。ただその際最も重視することは、社会人としてのその方の品位でありいくらか高い技術をお持ちでも社会人としての資質に問題がある方には指導の依頼はしていません。

本校での部活動はソフトテニス部(男女)があります。人数に比べコートが少なく生徒にとってかわいそうに思います。また外部指導についても中学校では技術指導と教育的指導の両面があり、後者の方の指導面が「外部指導者に委ねられるか」が関心事です。また硬式テニスではシングルス制もありコートの問題でその悩みは一層強くなります。

コート使用料を安くして欲しい。学生対象の安価なスクールを開講して欲しい。

学校教育における部活動としてのテニスの捉え方と、単にスポーツとしてのテニスの捉え方の間には少なからずギャップがあると思います。民間との連携を考えていく場合のキーポイントだと考えます。

民間テニスクラブの所属者が高校の部である場合、一般の生徒(クラブに属さない者)との関係で指導に難点が生ずることが考えられる。(近隣には多少あり)教員が指導できればベストである。必要に応じてコーチ等は可とされます。

生活指導をきちんとして欲しい。

企業である以上無償というわけにはいかないのではないかと。

私は学生時代東京のテニススクールでインストラクターをしていました。卒業後約20年間社会人対象に指導もしています。しかし本校にはソフトテニス部しかなくしづしづその指導に当たっています。硬式に切り替えたいのですがなかなか出来ません。何か良い方法はないでしょうか。

民間テニス事業者が近くにいない。

大会等の参加において外部コーチをベンチ入りする、しない等の問題が生ずる。しかし週5日制に向け部活動の見直し、クラブ活動の廃止を考えると今後連携の必要性があると思われる。

部活動や生徒利用の際料金を安く 施設休業時に施設を開放 指導者派遣依頼時の費用を安く 練習用ボール・用具等の提供、低料金化(メーカーへの希望)

部活動の軟式テニスは将来的に続ける人は極めて少ないと思う。硬式テニスにどんどん移行する機運が高まると良いと考える。おそらく業者の問題が一番であり、生徒のほうは硬式のほうがより関心を示すと思われる。

部活動の施設利用に対し、割引率をアップさせる等の便宜を図ってほしい。

課外活動で連携するとしても個人レベルで会員になるのは良いが、部活として民間業者と同じ指導(時間・場所)は難しいのではないかと。

料金がネックになるだろう。教育的な指導も配慮して欲しい

コストが高い。

生徒が民間のテニススクールできちんとした基礎を学び、その上で学校でのクラブ活動をする こうした生徒が何人かいるとクラブ活動は活性化する。その時には中高生がスクールに入りやすい条件(費用、時間等)を十分考慮することが大事。学校等への出張指導も費用面がクリアできれば賛成である。その際指導者としての資質はきちんと持っている人が望ましい。学校が生徒のスポーツを引き受ける時代は終わっている。学校の機能をスリム化し、学校外で行うものと学校が行うべきものとの仕分けを改めて考えるべき。スポーツなどはもっと外で良い。もちろん学校でのクラブ活動を全面否定はしないが義務的にやらされる場合は生徒のためにもならない。

小学校時代に硬式をやっていたら必ず硬式にしたいとの生徒の要望も増してくると思うが、現在テニススクール等やっている生徒が地域に殆どおらず硬式に移行する素地がない。もっと小学校時代に親しむ企画を多く取り入れれば学校教育の中へ、例えば体育の授業等で取り上げれば変わってくると思う。(指導者がもちろん派遣されてくるのが条件)

現在本県の中学校ではソフトテニス(軟式)が普及しているしソフトテニスの良さもあるので、中学生に硬式テニスを教える必要はないと思っている。特に民間事業者への要望はありません。

学校の部活動が将来社会体育に移行すると思いますが、部活動は教育の一環として重要な位置を占めているので生徒個人をとっても大切にします。山口県内のスクールに通う生徒たちはレベルも比較的高く、県全体には良い影響を与えています。教育は出来ていないと思います。マナー・上下関係・競争心等学校の部活動で育った生徒とは明らかに異なります。強い選手を育てるのが目的であれば部活動でもスクールでも同じ方法で出来ます。

学校では施設・指導者(外部も含む)が整備されていれば部活動としての運営は可能です。また各種大会においては体育連盟との関係、運営組織が課題になると思います。東京都ではソフトテニス部よりテニス部の方が設置されている学校(中学校)が多いと聞いています。そのような地域の差というものは問題として考えていくべきではないかと思えます。

以前インターハイで度胸をつけるために試合前に酒を飲ませて臨ませた民間業者がいたと聞いている。やはり部活動は教育の一部なので出来れば学校ないで教員が指導に当たるのが一番だと考える。また硬式よりソフトテニスのほうがダブルスを基本としているため協調性、相手への思いやり等成長期の中高生には最適のスポーツと考えています。陸上などを含め個人主義的スポーツは現在の利己主義な人間を増やしてしまうように思えます。出来ればメジャーでなくとも団体競技を通して青少年育成に取組まれた方が良いのではないかと思います。

本町にも民間テニス事業者を作りたい 土日には部活と関係なく地域活動として独立してやって欲しい(学校は今ある部活動に集中してやっている)

硬式をやっている生徒の公式戦出場の手続きは積極的に行っている。オープンスクール(クラブでの)や出張教室のようなものを積極的に行ってやり始める生徒の数を増やして欲しい。(硬式人口を増やすことには賛成である)

本校のテニス部は部員数も多く、ソフトテニス部もあるが慢性的にコート不足に悩んでいる。これを解消するため10年程度前から近隣のテニスクラブのコートを格安の料金で借り(週1回)練習している。クラブの経営者が学校の教育活動に理解を持っているので大変有難い。底辺が拡大できれば将来的にクラブ側にもメリットがあるのではないかと思う。今後このような関係が更に密になることを望む。

中体連の大会で順位を競う以上公平な条件の中で練習をし、大会に望ませたいというのは理想論ですが、現実には民間のスポーツ施設に距離的・経済的にクラブできる生徒が学校外の専門のコートと練習を受けて優勝をしています。私共のような田園地帯の少人数の学校にはミミグスクールとテニスクールのような外部機関で練習をされる生徒は殆どいません。街の中の生徒と対等に競え合えるようなものでない競技は本校のようなケースにとってはますます格差を広げていくことにつながると思えます。

生徒をクラブに通わせたいがクラブがなくなってしまった(野木ローズ、小山ローン)古河にクラブがあるらしいがコネクションは持っていない。(私個人宇都宮のクラブに入っていたが小山地区の生徒を行かせるのは一苦労)コートが空いている時低料金でコートを貸し出したりコーチングをしてもらえれば大変助かる。今のところ親が熱心かどうか(もちろん本人も!)によってクラブに行かせているかどうか~というところであろう。とにかく学校の仕事は多忙であり、本当に強化したければドイツのサッカーのように地域のクラブシステムを広げた方が近道であろう。

選手育成、指導者育成のための情報公開。地域選手の強化、普及等のコーチと教員とのディスカッション。

テニススクールに高校生が入会する時は割引料金にして欲しい 公立中学の生徒がテニスをする時間、コートを与えて欲しい 公立中学にテニス部を創設するように援助して欲しい。

学校の現状(施設、予算、ソフトテニスとの関連等)を考えると中学校でテニス部を作って活動していくことは難しいと思われる。ただ近くの会員制テニスクラブやテニススクールで希望者が積極的に参加していくことは良いことと思う。早い段階(小学生等)から民間事業者から生徒にアプローチしていくことが必要かと思われる(テニス教室他)

金銭的なトラブルが心配である。

コート代を安くして欲しい。

遠方のためあまり考えたことがない。

社会スポーツとして頑張りたい。

部活動一般についての質問なのか、ソフトテニスに対する質問なのか良くわからない部分があった。公立の中学では中体連との関係とか、伝統的なものから当然硬式テニスの導入は難しいと思う。硬式をやりたい生徒は小学校からスクールに入っており、中学校の部活には所属しないのが一般的です。本校にも数名スクールに通っている生徒がいます。(中学の部活には入っていません)以上のような状況から硬式を中心とする民間業者さんをお願いすることはないと思う。コートを無料で(格安で)使わせていただけるならお願いする部分はあると思えます。

本校ではテニスコートがなく、裏庭を利用してテニスの練習を行っております。その上1面分のスペースしかないためなかなか効率の良い練習をすることが出来ません。30分以内の地域で民間の施設を借りたり、組織的な指導をしていただけたらとても有難いと思います。ただ、料金は個人負担になりますので、出来るだけ低料金で利用できればと思います。例えば、コート利用ならば一人1回500円程度、指導していただく場合でも1000円程度ならば継続的な利用が出来ると思います。往復時間なども考え合わせると、[土曜日の午前中2時間程度、テニス部の希望者がスクールに通う]というのが現実的な線ではないでしょうか。

コートを貸してくれる際に多くの条件を出されると事実上無理が出る(例・1時間のみ・有料(半額)・1面のみ・8人まで・教員が必ず引率)小学生プレーヤーの中学部活体験派遣など 日頃感じていること ご存知の通り中学ではソフトテニスの部活が圧倒的に多く、硬式テニスの部活を運営するには様々な苦勞があります。しかし一方では、社会のニーズは硬式テニスのほうが多く、保護者等の支持もあります。この状況はソフトテニス協会が中体連での力を強く持っていることが1つの理由ですが、大人同士で喧嘩しても解決にはなりません。中学生本人から「硬式テニスをやりたい」という希望が出るのが一番です。学校の顧問も民間のコーチも共に地域ボランティアとして、地元の小中学生の硬式テニス人口を増やす努力が必要だと感じます。私の考える理想は、部活で仲間と共にテニス(試合)をする楽しみを知り、スクールで技術のレベルアップをする喜びを知って欲しいと思っています。このアンケートの趣旨は大いに賛成です。今後も協力させてください。私は現在神奈川県公立中学校硬式テニス部会(公立中学校硬式テニス部顧問会)の事務局をやっています。私立ちも毎年1校でも多くの中学に硬式テニス部が設立されることを望んでいます。持っている情報の交換も出来ると思います。

ジュニアの実績がある生徒が入学してきた場合、所属クラブとの連携は必要であると思います。ただ、高校の知名度を上げるため全国から選手を引っ張って来たり、特定のクラブと提携したりすることについては気が進みません。本校では選手個々の判断で民間のクラブに通う子がありますが、そのこのレベルに合わせて(経済力のレベルも含めて)オシエテイタダケタラと思います。

大会の参加費があまりにも高すぎ個人負担となる。ボールやラケット等はかなりやすくなり手ごろであるが、ここでは関係のないことかもしれないが中学生に広めるためには、もっと安く大会に参加できる制度とジュニアの扱いを中体連とでもっと考えるべきでしょう。

当地方ではソフトテニス主流で生徒もあまり硬式テニス知らない状況です。最近TVやマスコミの影響で硬式テニスに興味を持つ生徒も出てきている。しかし、まだまだクラブを作ったり具体的活動をしたりということまではいっていない。

青少年育成支援とテニス及び事業者との連携を続けて考えるのは飛躍し過ぎと思われる。本当に支援を目的とするなら、硬式軟式は関係ないことではないか?

近くにテニススクールがないのでジュニアからの養成が難しい。

部活動の代価となるには費用、交通便宜、時間の融通等。

現在の勤務校のテニス部をもっている限り「強くしたい」という欲求はある。しかし、それは目標であり、目的は「テニスを通じた人間づくり」である。民間テニス事業者と連携した場合、技術の向上という面ではプラスが予想されるが、技術の向上が商売である以上「勝利主義」になるのではと心配である。自分としては、自分がテニススクールに通ったり詳しい人に教えてもらって生徒に還元している。学校現場では学校体育から社会体育へ移行しているが、体が動くうちは生徒と一緒に汗をかいて努力したい。

テニス技術講習会や指導法研修会等を開いて交流を図っていきたい。

近くに民間テニス事業者がない。中体連の組織等に硬式テニスが入らないと地方では広まらないのではないだろうか。

当地域での民間スポーツクラブはスイミングスクール程度の実績・認識しかなく、硬式テニスについては普及していない。本校の場合、少子化による部活動基盤の維持で精一杯の状況であり、生徒個々のニーズに対応困難となっている。テニス事業者が採算を度外視して当地区のような過疎地での事業展開を図るとも考えられず、この件については現実味が薄い。今後「総合型地域スポーツクラブ」が本格的に展開されれば、硬式テニスも選択肢の中に入ってくるものと思われる。

民間の施設は借用料がかかるから現実には無理。民間事業者との連携も本校では可能性がない。今後、社会体育に部活動が移っていけば社会体育での連携や施設利用も出てくると思う。部活動のあり方も今後変わっていくと予想されます。

プレーヤーとしてマナー指導が行われていない。

教員のほうでは、学校活動の一環としてテニスの部活動を行っているので、民間事業者側も教育活動を逸脱するようなことはないよう自覚していただきたい。例えば、民間クラブの忘年会・パーティー等での飲酒など。また民間クラブ独自の行事の参加については、学校側と十分に連絡を取り合っていただきたい。例えば、大会出場・遠征などである。

現在も週1回民間テニスクラブコーチに指導を依頼している。

学校教育の中の「部活動としての位置付け」について理解をしていただきたい。

民間テニス事業者は経営の戦略をもっと練って欲しい。ビジョンのない民間テニス事業者が多い。例えば、テニスコートががら空きなのに中学生あたりに正規料金を取る。これはリターンする生徒が極端に減る。夏休みの平日辺り、一人もテニスコートに入っていない時は、もっと安く出コートを出して何回も来てもらう。その中で親や周りの人も少しずつ興味を持ち、大人もするようになる。また、トップジュニアも伸ばすスクールが必要。底辺拡大と合わせて各スクールの特色作りをして欲しい。とにかくテニススクールは経営理念が乏しく、経営学を学んで欲しい。ジュニア相手は金にならないといったテニスクラブの経営者が多い限り、発展は見られない。

私はソフトテニスを指導しています。硬式が中学生に向いているかいないかは何とも言えませんが、大分県では圧倒的にソフトテニスの人口が(中学生)多いです。硬式にも頑張っ、ソフトテニス硬式テニスのレベルを上げて欲しいと思います。国体まで後8年です。ソフトテニスのほうが今は上だと思っています。公式と仲良くよきスポーツのライバルでありたいと思います。また、それとは逆に私は硬式とソフトテニスは競技が違うものだと考えています。だからこのアンケートは少し問題があるのではないかと思います。

クリアしなければならない問題は多いと思いますが、テニスの発展の為に極めて重要だと思います。お互いの意見を交流する場が必要となります。

テニスの事業等があまり良く理解できていないのでなんともコメントのしようがないというのが事実ですが、これからの部活動においては外部との積極的な接触も必要になってくると思います。

近年、他競技においても学校の枠を越えた形でのスポーツ活動が盛んになってきています。そのこと自体は大変喜ばしいこととして受け止めています。なぜなら子供のニーズに合った選択肢が増えるからです。しかし、教員としては学校教育の立場からは、部活動(特に運動部)は競技力・体力の向上はもちろんですが、それを支える不断の練習によって辛さや苦しさに耐える根性、努力をすることの大切さ等を子供たちに体験させる絶好の機会として捉えているわけです。しかし、学校外の活動ではその意義を踏まえ、試合に勝つこと・技能の向上のみに主眼を置いてしまう団体が多いのも事実です。プレイは凄いが人間的にはどうなのか...と首を傾げたくなる生徒も増えています。能力に恵まれたためすぐに出来てしまう生徒ばかりが活躍してしまい、能力的には優れなくても努力する気持ちを持った生徒が浮かばれない場面も良く目にします。そうすると努力することの大切さを子供たちは受け入れなくなり、能力を持った素質ある者のみが日の目を見るという歪んだ考えを持ってしまいます。その辺の教育的な考えを良く理解していただかないと、エリート養成機関になってしまうと危惧しています。学校の部活の場合、指導者の個人的な考えもあるかと思いますが、大筋ではあくまで教育の一環としての位置付けであるという認識を持っていただけたら、今後の連携がスムーズにいくのではないかと思います。

教育の一環として学校のクラブ活動がある。ややもすると技術面に重視しすぎる傾向があるので、集団行動のマナー等も考えて欲しい。

他の市町村の施設を利用する場合、使用料が一般の人と同じで団体で利用する時は負担が大きくなってしま(同村の施設を利用する場合は減免だが)せめて学割制度でも作って、少しでも負担を少なくさせて欲しい。

本校に於いては5年前より保健体育の授業の中で球技テニスを取り入れている。このテニスとはソフトテニスではなく全て硬式であり、将来テニスを楽しむことのできる導入として捉えている。また、学校向かいのガソリンスタンド所有のテニスコート(ハード1面)を平日無料で使うことが出来る事もテニスを実施していく上で有難い。生徒のほうは、ボールを打つ・フォアハンド・バックハンドの違い程度しかレベルアップを望めないが、殆どの者が能力に応じ「楽しかった」と種目アンケートでは回答している。充実したコートが2面は取れば更に内容のある指導が出来ることと思う。将来的には隣にある「ゴルフリゾート花見川」がテニススクールも併設するというので、平日の授業で活用させていただきたいと思う。(平日であれば授業(ゴルフ)での使用は無料と配慮していただいているが、ゴルフをまだ実施していない)。

中学校の部活動の外部団体への委任はほぼ教師全員が望んでいるところであり、手軽に楽しめるテニスがスポーツスクールの的に広く開設してくれることは大変望ましいことである。大いに勧めて欲しいものであるし、この町はあまりテニスに興味がないようであるが、地域的にも出来れば良いし、適していると思う。

高体連テニス活動と関連ジュニア活動とのすみわけがうまくいっていない。上手な生徒ほどその板ばさみになっている。

年に2かいぐらいは部員のテニスをテニスコートに見てもらいたい気持ちはある 先生方への指導者講習があれば良いと思っている 金銭的なことを期待されるなら学校は応えられない。

民間テニスクラブ側で生徒の技術向上となるような企画を立てて、県の高体連テニス部を通すなり、各学校のテニス部に提案していただくと、学校側も利用(参加)しやすい。(話によると、学校独自に交渉して協力をいただいているケースもあるようですが、コーチのレッスン時間や謝礼等のことで簡単にはお願いできないとのこと。連携の体制は殆ど(全く)整っていないと思います)。ジュニアからテニスを始める生徒と、高校からテニスを始める生徒では実力差が大きいので、テニスの基礎から一通りのことを数回にわたって指導していただくと有難い。

民間の会員制テニスクラブ、テニススクール、コートの貸借費用が高額。学校では予算がないためとても難しい。

<p>中学校の大会や練習試合等で民間の施設を利用しにくくなっています。地域や社会体育が優先されるためもっとうまく連携が取れば良いと思います。</p>
<p>公立校内に部を新設したり、活動を行って行くには、かなりの予算がいる(校内の部の費用は生徒数減少のため年々減っていったり)時間的なものや安全面は、顧問と保護者との信頼関係があれば OK なので、最終的には金銭面だと思います。出来れば協会のほうから学校の体育連盟のほうに硬式テニス部の設立を働きかけて欲しい(可能であれば)。</p>
<p>本校は広島県の山間部に位置し、民間業者との連携は先ず難しい状況です。部活については、将来的には学校教育の場というより、社会体育へ移行すべきだと考えます。</p>
<p>テニスの技術指導、強化に偏らず、テスを通した健全育成を第1の目標にしていきたい。活動費用は受益者負担が原則であるが、費用を最小限にしていきたい。</p>
<p>本校にあるコートはソフトテニス部が使用しているため、硬式テニス部は同好会から部に昇格した時の約束があるらしく使用することが出来ない。現在は中庭にラインを引きネットを立てているが、整備したものではないので平らではなく、また1面しかない。しかし、ソフトテニスに比べれば人数も多く練習するのが大変な状況である。整備されたコートを定期的に使用することが出来たら技術向上に役立つと思う。民間コートは高く使えない。公営のコートは予約するのが授業時間内なので、申し込みに行くのが大変。このような状況にあるので安い料金でコートを借りることが出来たら大変助かります。</p>
<p>学校部活動の目的は、生徒の健全育成が目的である。現部活動にない部をあらためて創部し、民間と連携していくことはあり得ない。生徒のニーズは多様化しているが民間は民間で、それらのニーズに対応出来る料金体制などは是非検討を進めて欲しい。(公的資金の援助等を含めて)これからは学校部活動と民間クラブ等が共存していくことがより一層望ましい姿といえる。</p>
<p>本校テニス部の生徒たちが民間テニス施設を利用する場合の問題点は「問24」に回答した項目が該当します。その中でも特に利用料金が高いことが問題となります。民間施設の1つは本校から遠い場所にあり、交通費が高くつき毎日通うことは出来ません。その上、利用料金が高いので高校生が普通に支払うことが出来る料金ではないのが実態です。そこで要望したいことは 小中高校生には出来るだけ利用料金を安くして、テニス人口の拡大のため努力して欲しい。料金の安い公営施設(市営、県営)は利用率が高く利用しやすい反面、施設が空いていないので、市や県との連携により施設拡充や確保のため働きかけて欲しい。岩手県では県外と比べまだまだ公営及び民間施設が不足している。指導者も不足なので、施設・指導者の両面から充実できるものにするために創意工夫して欲しい。</p>
<p>鳥取県中部でそうしている学校は1校もなく、考えたこともない。</p>
<p>昨年度の全国高校総体男子決勝戦で起きたことであるが、民間テニス事業者から習う A 高校と学校の部活動中心の B 高校の生徒の態度に大きな差があった。A 高校の生徒は大会運営の役員、生徒、対戦高の生徒たちをののしったり、下品な態度を取ることが多かった。テニスの技術だけでなく、礼儀や人としてのマナーなども教えることが必要ではないか。</p>
<p>家族でプレーすることが多い。</p>
<p>本校の場合、近隣のテニススクールよりボールを定期的に譲り受けており、とても有難く思っております。また、雪や雨が続き本校での練習が出来ないときには利用している。出来ればもっと学校に出向いて情報や指導方法を教えていただけたら有難い。またそういうことが問題なくできるよう、県教育委員会等に働きかけて欲しいのですが。</p>
<p>部活動としての利用が可能な時間帯に安い料金で開放して欲しい。</p>
<p>軟式テニス部しかありません。個人的には硬式をやりたい。</p>
<p>練習メニューなどの指導に関する知識を得る機会があると良い。</p>
<p>今のところソフトテニスの運営で十分成果を上げ、指導者もいるので民間テニス事業者との連携は考えていません。</p>
<p>学校の部活動とは切り離して個人的に参加させたほうが良い。</p>
<p>民間に限らず他から指導者を招くのはその内容や方針が異なるので、難しいと思われる。指導者同士の意志疎通が不可欠。良い施設を貸していただくことは大変有難いことだと考えますが、やはり費用の面が問題となる。部活として利用するなら1面1時間100円くらいが限界。</p>
<p>やはり「料金」の問題が一番大きく、生徒一人一人の負担を出来るだけ少なくしたい。そのためには例えば、民間企業の設備が平日利用されていない場合などは、積極的に学校に利用できるように考えていただきたいと思います。</p>
<p>ボランティアとしての活動にどのように配慮しているか。学校における部活動の指導に対する理解があるかどうか(人間的な成長や生徒指導面に関して)。</p>
<p>学校教育の中で取組む以上、活動にかかる経済的な面での問題が多く、公的施設を推進している状況にある。特にコートは公的施設での練習等での予約も取りにくく、民間テニス事業での減免等が可能であれば、活動も更に活発になる。</p>
<p>中学校ではあまり硬式が普及していないので、民間団体が中心になって行っていただければ次第に学校でも硬式に移行していくのではないかと思います。</p>
<p>青少年育成の観点から投資をしてもらいたい。</p>

地域としてそのようなものが出来そうもないので実現はしないと思うが、他の場所に行った時にそのような施設があれば利用したいが、学校との連携が難しく、殆ど無理だと思う。外部指導者となら学校の中の事として連携していけるところもあるだろうが、お金を払って外でやるというのなら、学校は口出しできないと思う。

全国総体の上位では、表彰式でのマナーが悪くて注意されたり、まわりの野次がひどく試合に集中できないなどの問題が多いと思います。前者は民間のテニスクラブ員が学校の名前を借りて出ているだけで、お客さんとしてマナーをうるさく言えない状況があると思います。また、あまりに勝つことにこだわりすぎてハイレベルの好試合にならない行き過ぎた応援は、高校生のスポーツとしては考えて欲しい。しかし、日本が世界へ通用するテニスプレーヤーを育成するには民間のテニスクラブの役割は大きく、選手のマナーを含め、テニスを愛する指導者全員で選手強化、マナーの充実を考えていかなければならないと思います。こういうふうにやろうとすると指導者の中には出来ないと言われる人がいます。(技術指導、マナー指導どちらか)出来る人がそれをカバーしながら、例えば無料で講習会を民間のテニスクラブが開くなど金銭的に余裕がないと思いますが、実施していただければと思います。

中学校の部活動は、生徒の興味関心のあるスポーツや文化活動を通して、健全育成を図るところに力点が置かれています。「部活動を通しての作り」が最終的な目標となっています。民間のテニススクールなどは、スポーツを楽しむのが技術力を高めるというニーズに応えるために運営がなされているように思います。中学校での部活動でもそのことは大切に考えていますが、部としての「集団」も重要と考えています。集団活動の中で個を磨いていくという考えです。民間はあくまで「個」がターゲットのような気がします。そのことが中学校との違いのような気がします。

学校の行事等を良く理解していただき、子供たちの時間的な負担をバランス良く配分して欲しい。

テニスに限定せず、ヨーロッパのようにスポーツの形をとり、子供たちがいろいろな競技に接し活動する施設が確保されている状態が望ましいと考えます。

本校の場合、テニス部に在籍している生徒が数名毎年近くのスクールにお世話になっております。顧問としては、スクールに通うことを勧めることもしませんが、決して禁止もしません。やはりお金が必要となりますし、校内の練習も時間だけはそれなりに積極的に活動しております。だから余裕(体力、経済的に)のある者なら行きなさいと言っております。やはり問題となるのは、スクールのコーチの各方との指導法の食い違いに生徒たちが戸惑うところであり、もちろん専門的な知識を持って見えるコーチの方々の指導法の方が効率は良いと思われそうですが、それを校内に部活動に全て取り入れることが出来ないという点です。レベルの差、意欲の差、それらを全てまとめて校内では活動しなければいけません。出来るならコーチの方々との交流が密になれば、おたがいの状況を理解できて、もっと生徒を送ることが出来るでしょうし、部活動も活性化できると思うのですが...

中長期的には教職員の繁忙化、高齢化、質低下などで部活動を従来通りボランティア運営していくのは不可能だと思います。また、生徒のニーズにもハード、ソフトの両面に対応できないでしょう。(特に公立の一般的な学校では...)最終的にはスポーツ文化は社会で(民間含む)支えざるを得ない。しかし問題は、過渡期的状況において(現在の)閉鎖的学校教育現場と教育的配慮不足の民間がずれたまま遭遇して齟齬が生じざるを得ない点にあります。文部省、各教育委員会は調整能力不足でしょう。つまりところ民間の意識理解向上に期待を持たざるを得ないとするのは短絡でしょうか。

営利と勝利追求で優秀選手育成だけを目指すのではなく、もっと高校生や中学生にテニスの楽しさを教え、普及して行く方向を強く打ち出したスクールを多く経営してほしい。その為には行政も税の免で有利に取りはからってもらいたい。

利用料金の問題 意識の違い(教育の一環としてのスポーツ(テニス)のイメージと、利益を追求しなければならない民間のイメージとのギャップ)をどれくらい双方が歩み寄れるか 中高生の大会運営への協力(人的な面、設備、施設面) 県テニス協会への運営面の協力。

本校では今年度より外部指導者(有料)の導入を望む部については、実施可能とした。テニスは週に二回各回3名ずつの専門的スキルを持つ指導者を外部から招いている。(生徒はスキルに応じて6グループに分かれていて週に1回外部指導者のレッスンを2時間受けている。費用は一部を学校が負担するが、大半は個人負担である。)指導者に支払う料金は他の種目に比較して高額となるのでこの点は悩みである。ボランティア的な指導者を派遣していただくとありがたいが、人物的にもしっかりしているかどうか。

ソフトテニスが中学校では主体なので、特に硬式テニスを考えたことがない状況である。大学や社会人になったり、プロの大会等では硬式テニスが盛んになっている状況を見ると何らかのアクションが必要なのかもしれないと感じられた。

何故硬式テニスよりソフトテニスが中学校で盛んなのか。私自身、硬式も軟式も経験したことがあるが、どちらにも良さがあるのに硬式テニス部が全体的に少なく、結果、国体インターハイ等で活躍ができない実状があるのではと思います。硬式テニスを盛んにさせるにはジュニアの育成、小学生からの指導体制の確立が第一と私は考えます。

費用や時間的な免での負担が少ないこと。生徒指導上の面で学校と歩調を合わせること。

近くにあればいいな～とは思っています。ソフトテニスの大会を開催したり、定期的にテニスクリニックなど開いてくれれば、利用してみたい。

監督、コーチの立場をきちんとわきまえないと顧問の指導が行き届かなくなる。一番良いのは、顧問自身が、民間施設で充分コーチを受けて技術的にも向上することだと思う。単にコーチだけを導入するのなら民間テニス業者がよいに決まっている。学校のクラブはそのクラブ活動を通じて教師と生徒との心の触れ合いを増し、学校運営自体をスムーズにでき、生徒の問題行動が出にくくなったりと言う大きな教育目標につながっている。教師として生徒指導に当たっていないコーチをそのまま導入することには危険性も伴うことを考えなければならない。ただあまりむずかしく考えずに民間コーチをどんどん導入してその結果がどうかという試行錯誤を・・・。

同じ競技として連携できるものがあれば連携するし、施設利用のための費用は出せない現状があるので、必要以上の連携を考えることはないと考えている。

地域的に導入は時期尚早。

私は過去 25 年間ソフトテニスを指導してきた者です。従って、ソフトテニスに対して個人的に愛着もあり、硬式テニスが嫌いな由ではなく、今までのライフスタイルともなっていたので回答が不適當な部分もあるかと思えます。今回のアンケート調査には賛同します。小・中学校の部活を中心として社会体育へ移行していく必要があるかどうか、私は判断できませんが、学校に部活が存在するからこそ子供達が色々なスポーツに興味を示すのではないかと思います。「部活から全て社会体育へ移ることには反対です。学校教育としての部活に意義を感じるのです。どんなスポーツでも同様ですが、最近の傾向として、スポーツを指導できない教師が増加しているようです。民間テニス業者だけでなく、他のスクールに望むとすれば、学校の部活を指導できる教師の育成に力を注いでくだされば良いのではないかと考えます。失礼な文章を書かせていただきましたが、最近特に思うところを書きました。

公的施設の拡充が優先されるべきだと考える。

学校のクラブということではなく、個々の生徒が保護者の責任のもとに入会し活動するテニス教室（中学生対象）を開き、より多くのニーズに応えていただきたい。

- ・兵庫県の場合、高体連テニス本部とテニス協会の役員を兼ねている方が多く、研修会等でコミュニケーションをとれる機会は多いと思う。
- ・時折、テニススクールのコーチと学校の顧問で指導が食い違ったりと生徒が混乱することもあると聞いたりする。
- ・物理的な条件だけでなく、お互いのコミュニケーションが大事。

指導者講習会を設けてほしい。

部活動は教育の一環として学校管理下のもと行われているので、事業者と学校とよく打ち合わせを行い、協力して行うことが必要だと思います。

テニスは生涯スポーツとしてできる。大人になってもできるよう硬式が望ましい（世界的にも普及しているから）と思う。

硬式テニスを民間との連携などにより学校でどんどん普及させたい。現代、ソフトテニスより硬式テニス人口の方が多と思うのですが学校現場ではほとんどがソフトテニスで少し残念です。

施設を利用する場合には、費用（使用量、移動費等）が個人負担となり、学校教育の中の部活動（誰もが参加できる）の位置付けが不明確となる。無料もしくは軽減をはかり、個人負担を軽減することが利用が認められる第一歩になると思う。けが等の責任の所在が不明確になりやすいので明確にすることも必要である。部活動とスクールの違いを理解（指導者、生徒とも）した上での利用が必要。

仙台市の中学校ではソフトテニスが主流であり硬式が一般化されるには時間がかかると思われる。

地域的に硬式テニスの認知度が低いので、部を新設することも、民間クラブなどの連携は全く考えられない。

民間テニスクラブを時間的にあまり利用者がいないときに解放するぐらいのこをしてくれるとお互いにプラスになる。

今年度、本校で1名硬式テニスの試合に参加した。民間事業者に指導いただき、試合に参加できたことは感謝しています。地域での課題を解決され、テニスが普及することを期待しております。

具体的な指導プログラムとかがあり、それを学校側が、うまく利用できるかどうか検討できるような計画が立てられないものか。また、天候に左右される大会運営などのため、オムニコート等が低料金で利用できると幸いである。

校外のスポーツクラブ等に参加し活動することは自由です。現に硬式テニス、アーチェリー、サッカー、等多くに本校生徒が入っています。部活動とは別ですので、何の問題もなく、今後社会体育・生涯体育で考えれば、外部へ出ていくことの方が好ましいのではないのでしょうか。

もしも連携をするのなら「教育の一環」としての観点で指導してほしい。子供には色々な問題を抱えている場合が多い。技術指導で突き進むと必ず「落ちこぼれ」「落ちこぼし」が生じる。個人としては業者がそれなりの結果を出せることを課題として持つてしまうためとても期待できないと思っている。

スポーツに対する姿勢が一致することが望ましい。「成果」をあげるのが商施設の命題だと思うので、生涯学習、健康維持、技術・体力向上など素人の人の持つ方向性も大事にしてほしい。

理解不足かもしれませんが、なんで通産省生活産業局がテニス協会の肩代わりしてアンケートをするのか理解できません。民法第 34 条に基づいてとありますが、他協会のこういう類のアンケートを見たことはありません。一応協力しましたが、忙しい現場の状況を理解してくれているのでしょうか。個人的に教育の中でのスポーツは団体競技が基本だと思っています。本校の軟式テニスもできるだけ団体の意味合いを大切に指導しております。そういう意味でテニスより他の競技の方がもっと教育的な効果が得られると考えております。

現在中学校においては、ソフトテニスが主流である。しかしながら、国際的な目から見ると硬式が主流でなくてはおかしいと思う。かといって現在、熱心に活動している部をつぶすわけにも行かず、生徒数が減ってきている現状で新しい部を作ることも困難である。2002 年から部活動が徐々に社会体育に移行していくわけだから、もっと体育施設を増やし、誰もが気軽にスポーツができる環境が必要だと思う。日本はオリンピックで勝て、勝てとよく言うが、スポーツの施設が欧米に比べ劣っているし、メジャーなスポーツばかりに人が集まり本当の子供の素質を伸ばしていないと思う。また、指導者ももっと勉強し、自分はまだまだだという気持ちでやっていくべきである。テニスだけでなく、色んなスポーツで民間の力を借り、本当に子供の力が発揮できる指導（目先の勝利ではなく、将来を考えた指導）や施設を考えていかないと、日本のスポーツはもっと衰退すると思う。

外部指導者の導入は、メリットも多いが、その分教育的側面から見るとデメリットも多い。現段階では学校側と外部指導者との連携がうまくいっているとはどの学校を見ても言い難い。指導方針の違いなどから連携と言うより「外部機関」が学校側の顧問より発言力を持ってしまおうと言うことが多いようである。あくまでも教育的配慮を第一に考え、その次に技術力を重点化すべきだと考える。

現状ではなかなか連携といっても難しいかもしれない。ただ、部活をはなれた所でテニスを親しむ場があるのはいいことだと考えています。

岐阜県の公立中学では軟式が 100% 定着しており、硬式は高校からという考えがしみついていてまず無理。

民間テニス業者は存在しないので不明。町が後援するスポーツ教室がある。

これからは学校のみならず、外との連携が必要になってくると思います。その為にも、今からいろいろな機会をとらえ交流をしていくことが大切であると思います。

社会体育として環境整備は早急に進めてほしい。しっかりした土台がないとなかなか連携は難しい。

スポーツが金になるならそれでよいと思う。地域の青少年育成がどうだとか言う必要もない。事業を起こすのは金を得るという最大の目的があるからで、それにわざわざ理由をつけることもないと思う。ソフトテニスで金を取って教えているような所は聞いたことがない。文部省が業者のアンケートに加担するのも理解できないし、また、氏名や役職を書かなくてはいけないのか理由を示して下さい。

今後の部活動や学校教育活動として、経費、管理の面でどこまで連携が可能か検討する時期を迎えていると思う。しかし現段階では、個人が主体的に民間テニス事業に加入することがベストであろう。そこから技術的に評価され「大会へ出場したい」となったときに学校が積極的に支援する体制をとることはやぶさかでない。

中学校の場合、小中体連に加盟しているかどうかで大会日程が変わる。硬式テニスの場合その加盟がされてないため、地区大会も協会の都合で日程が組まれ、テスト週間の休日とか、会場が遠い、学校保険に加入して無く、道中での事故に対して保障がないなど硬式テニス自体の魅力はあるが、公立中学校で続けることは色々なリスクを背負った。その為本校は本年度まで硬式テニス部を活動してきたが、私も 1 1 年間この中学校におり異動をしなければならなくなると考え、他に顧問を引き受けてくれる指導者もなく、来年より廃部という決断をした。これらのリスクを解消することが一般に普及する道となると私は思います。

クラブ会員以外にも解放してほしい。一日テニススクールや弱点克服レッスンなど、1000～2000円程度で頻繁に開催し閉鎖的なイメージを払拭してほしい。また、指導初心者に対して、効果的な練習法があれば、一日レッスンなどで紹介してほしい。

近辺に民間テニスクラブ・スクールがある状況であれば、雨天時等における施設の利用が無料でできると良い。(クラブ員、時間の都合で不可能だと思いますが。)

硬式テニスではないが、民間で練習をしている時と学校での生活が大きく違う場合がある。(例)野球であれば厳しく指導できるのできちんとするが、学校では授業がきちんと受けられない。サッカーであれば茶髪は認められるが、学校では認められない、等、様々な問題を学校で抱え込んでいるのが現状です。上記のようなことが起こらないよう十分な連携ができればよいと思います。

民間ではないが、町民が集まってテニスをする場がある。(軟式)公共の施設もあるので、学校としては積極的に利用している。軟式の方は盛んだが、硬式の法はあまり盛んとは言えない。どちらも同様に行われるといいと考えている。

競技力向上の為には、一貫した指導システムの確立が重要と考える。民間テニス事業者と学校の部活動関係者は連絡を密に取り合い、考え方の違いも理解し合うことが必要である。

ソフトテニスにもテニススクールを作してほしい。

<p>中学校では千葉県小中体連にテニスの組織がないために全県レベルで硬式テニスを盛り上げる基盤がない。長年働きかけをしているのにも関わらず組織の設立がままならないので民間テニス事業者との連携云々を論ずる前の段階です。底辺を広げるためにも、民間テニス事業者の方々と手を取り合って、テニス界全体を盛り上げていくためにも、まず組織づくりをお願いしたいと思います。ぜひよろしくをお願いします。</p>
<p>学校間同士で施設を利用試合、練習試合も行っているが、公式戦にも参戦するスクール生との交流がない。試合、練習も含め具体的に交流できればチーム全体・テニス界全体の発展につながると思う。またプロまたはそれを職にされる方（コーチ等）からの教員に対する技術養成・指導力養成等にも協力いただければと思う。</p>
<p>入会金や利用料金の面で考えてほしい。</p>
<p>技術・先述をコーチすることは大変大切なことであるが、テニスを通じて人間形成をどう育てるかが根本になれば意味がない。テニスをしている生徒はどの県、どの地方へ行っても気分良く接することのできるような、テニスをしている愛好者のレベルアップ、指導者の指導の観点が大切である。別件として、中学生にはテニスの普及がまだまだなされていない。なぜ全国中体連の中にテニスがないのか不思議である。部活動による競技人口を広げていく上で中体連組織に入ることができないのは致命的である。</p>
<p>技術力のアップなど協力してほしいことは多くある。ただ、部活動として課外活動をしている際に一部の生徒がテニススクールに参加するため、学校での練習を抜けるようになると、全体の協調性に欠ける面も出てくる場合があるので、その点は気になることです。また、ジュニアの頃からテニスに触れることにより硬式テニスの人口が増えていくのは非常に喜ばしいことだと考えています。</p>
<p>私たちから見ると、テニスクラブは料金が大きく、閉鎖的であるというイメージがある。部活動の運営そのものの連携は難しい面が多いように思うが、基本的・応用的技術面に関しては、私たちとしても日頃迷いや分からない点がある。そういう面で協力していただけるようなシステム（もちろん料金面も配慮して）があればいいと思う。また、施設面でも安い公共コートは高校の部活動には貸し渋る所もあり、良いコートで打たせてやりたいという思いもある。（ちなみに本校テニスコートはアスファルトコート）</p>
<p>料金が高い。情報交流が不十分。</p>
<p>学校とは別にテニスプレイヤーを受け入れる団体があった方がレベルも十分にいい練習ができる。</p>
<p>周辺に民間テニス事業者がないので、望みようがない。</p>
<p>民間の硬式テニス業者は高・大学生が相手。中学生には校庭しか中体連として組織されていないのでやることには無理がある。でも個人的にはすてきなスポーツです。</p>
<p>学校よりもっと上のレベルでの検討が必要。</p>
<p>私は個人的には硬式テニス経験者なので、一般に普及している硬式テニスを中学校でも取り入れて欲しいと思います。しかし、公立中学校ではソフトテニスが主流なので公式に移行することは難しいと感じています。現時点では民間テニス事業者に望むことは特にありません。ただ、中学校にも硬式テニスが広く普及して欲しいと思います。</p>
<p>民間テニスクラブ等利用するととなると会員さんやスクールとの兼ね合いもあるが、地域との連携という意味で地元の高校の指導や施設利用を前向きに検討して欲しい。また、学生対象のイベント等も考えて欲しい。（営利目的ではなく）</p>
<p>民間の施設は割高であるので、営利追求のみの姿勢だとなかなか連携は不可能である。私共の高校は部員数が多く（12, 3年で100を越える）近場の公的な施設を利用している。これとてもナイター照明等を利用すると結構な金がかかる。民間を言い値で利用することは無理だと思う。青少年育成のために県民間施設をサポートし、高校生は割引利用できるようになればうれしいことだが。</p>
<p>硬式と軟式の違いがあるので、利用を考えることは難しい。仮に、利用するのであれば利用料金を低くし、手軽に参加できることが必要と感じる。</p>
<p>本校は山間部に位置するため、テニススクール等がないのが実状である。安い料金で気軽に利用できる施設があればと思う。</p>
<p>特にないが、高体連で主催する強化練習会のような行事にコーチを派遣できるような体制を作って欲しい。</p>
<p>学校には全ての面で予算（お金）がありませんので、お金のかからない方法をとって全てのことを進めていかなければならない現状にあります。そのことを頭に置いていただければと思います。</p>
<p>高校生向けにわかりやすい情報が欲しい。料金・内容・指導方針等。</p>
<p>利用料が一番の問題です。</p>
<p>連携を考えていないので望むことはない。</p>
<p>少子化の影響で選手（生徒）の育成がかえってやりやすくなったと思います。来た選手を大切に多方面から面倒を見る体制をお互いに作り出せればと思います。</p>
<p>部活動はあくまでも生徒の育成に向けてのものであり、「技術」を身につけるためのテニスクールとは性質が異なるた</p>

め連携は難しい。地域社会の教育力として役立てるよう望んでいます。
民間のテニス大会の参加費が高いため、費用負担（高校生個々）が大変である。その為積極的にすすめることができない。県・市主催であっても同様である。できれば無料のスクールや大会を開催し選手の技術向上が図られたらよいと思う。
費用面で安ければ可能。教師経験者がスクールにいれば交流したい。学校の現状をわかってくださる人がいない限り交流は望まない。
利用でも費用もないので、考えたこともない。
コーチ料は払えないのが現状です。その中でも指導していただけるのかどうか。
学校五日制完全実施を視野に入れて、部活動外の活動として社会や民間の中で子供を育てていくことはこれから必要。関わりの少ない生徒が増加している中、大人も地域住民ももっと生徒に積極的に関わりも持つべきだと思います。
テニスの普及について、学校が果たす役割は非常に大きいものがある。しかし、学校現場においては、施設・指導者の不足等多くの困難を抱えながら活動している。各学校顧問の努力・苦労には並々ならぬものがある。テニス協会としても何とか改善の手を打ち続けて欲しい。全国一律の施は難しいように思われる。各地域協会が各学校に合わせた細やかな対応策が必要と思われる。小さなことでもいいから、できることから始めてほしい。
硬式テニスだけでなく、ソフトテニスも含めてテニス愛好者にもっと安く施設が利用できるようにして欲しい。公共施設と比べて利用料金が高すぎる。
テニスを民間に託するという事は現段階では不可能である。学校が民営化されるような時期が来れば、色々な方法があるのではないかと考えられる。
都会の学校はともかく硬式テニス部がある学校は地方の公立の中学校にはほとんどないはずですが。硬式テニスが必要ないとは言いませんが、中学校の段階でソフトテニスと硬式テニスの両方を備えるのは不可能に近いでしょう。中学校でソフトテニスをしていた子が、高校から硬式テニス部に入るケースも多いことですし、無理に中学校で硬式テニスを普及させなくても良いのではないのでしょうか。
中学校体育連盟（中体連）に加入できれば、テニスの普及に大いに役立つと思います。しかしながら、今中体連そのものもテニスの加入に消極的で、テニスの中体連に加入できていません。国会議員が積極的に動いて中体連加盟の推進をすることが必要だと思います。
スポ少のような団体を作り、社会体育として積極的に活動してもらいたい。学校体育としてチャンピオンシップをめざす時代はもうすぐ終わる
練習場所を開放していただくと助かります。
回答者個人の考えでは、生徒が個人として民間テニス教室に通うのは趣味を伸ばす一環であり、学校として特に援助も中止の指導も必要ないと思う。校内で既設の部活動でのことについて、話題になることはあるが、部の新設について話が出たことはない。生徒も教員も減少の傾向なので、増やすことはまずないと思う。
民間では硬式テニスがほとんどであり、中学校（浜松地区）では部活動はソフトテニスである。その中では指導者の協力を得ることは少ない。私自身硬式テニスの経験があるため、将来性や普及率から見て中学校でも硬式に移行すべきであると考え。中体連の影響も強く、移行できないことは確かである。小学校で硬式をやり、中学では軟式、高校で硬式と段階をおって指導ができない生徒もいること考え、今後世界で活躍する選手育成のため、中学での硬式移行に積極的に取り組みたい。
営利目的に走らず小さい子供から楽しくテニスに親しむ態度を身につけさせて欲しい。民間テニスの施設には、学校終了後に行くためには、夜間照明・屋内テニス等の施設が必須条件と考える。利用費が高く会員制となると一般生徒には入りにくく、保護者負担も増加し普及に歯止めをかけているようだ。空いているコートをなくす努力を。ジュニアには安価で楽しめる努力を。地域から好まれる努力を。底辺の拡大とジュニア技術の向上との二面性と持つ努力を。
年に数回もしくは月に一回程度指導をしていただけるクラブ等があれば、お互いに連携が取れるのではと考えます。
自分自身とてもテニスが好きで毎週一回スクールに通っている者です。ただ、指導するとなると指導法の点でどのように指導したらよいのか不安な点もあります。来校してその点も含めて指導なさせていただけるシステムがあればと思います。
部活動で活動している生徒は学校生活の指導の一環として指導の効題が生じてくるケースがある。
学校として、硬式テニス部、同好会等はないのですが、個人的にスクールへ通っている生徒はいます。その生徒達の大会参加の際、学校の職員でなければ引率できない者（中体連等）には積極的に協力しています。しかしその程度ですので、このアンケートには非協力的な回答になっていると思います。申し訳ありません。生徒の活動への協力は学校としても大いにやりたいと思います。
部活動として運営するにあたり、より専門性を高めるために、指導者の派遣があればとても助かる。しかし義務教育の

場とするため、ボランティア的な指導者の派遣が望まれます。
以前に天栄中で硬式テニスを指導したことがあるが、近辺に試合の相手がいないという問題がある。(福島県内中学校で少ない)
1. 中級以上の生徒に安い費用で継続的に指導していただけるとありがたい。2. テニス指導者向けの技術指導(指導法を中心に)を行っていただけるとありがたい。
ナイター設備等、民間テニス事業者を頼りたいと思うことはしばしばあるが、一般的に利用料金が高いことがネックになっている。学校側としても民間テニス事業者側にも、お互いにもう少し連携をすすめられる体制は必要と思われる。
スイミングスクールのように、ジュニアコース等を作ってテニスの楽しさを教える方向に進んで欲しい。きちんとお金を取り、しっかり基礎や楽しさを教えるようにして欲しい。学校の部活動とは連携をとらない方がよいと思う。学校の部活動と連携を取ると、どうしても勝利至上主義や、生徒指導面の道具になってしまう恐れがある。学校の部活動よりも魅力的なコースがあれば、必ず人は集まってくるように思う。
島原周辺には該当する民間テニス事業者がないので何とも言えない。
連携がどういう内容を指しているのかはつきりわからないが、硬式テニスを学校で行うには、現在の軟式テニス中心の態勢を何とかしなければ、無理な気がします。また、試合に参加する学校数や、試合そのものを増やす必要もあるし、民間テニス料金の問題もあると思います。
学校教育の中の部活動であることを念頭において学校の方針に対する理解のもとに、来校の上、定期的に技術指導をして下さる方があれば、大変助かります。(現に探しています)但し、指導料については、一般のレベルで求められると私学の場合特に厳しいものがありますので、この点で上部団体の支援などがあればと思います。
当町には民間テニス事業者がないため特に望むことはない。
本校は近辺に中学校が少なく、同町にある中学校にはソフトテニスの設置がない為、練習試合や交流を図る合同練習に困難である。クラブ顧問が専門的な知識・技能を持っていないが、町のコートでサークル活動としてよるソフトテニスの練習に励まれ、楽しんでいる民間(地域)の方々がある。本校テニスクラブの生徒も夜週に何回か参加している生徒もいて、技術指導をして頂いたりしている。
コーチを学校に招くことについて・・・民間テニスクラブの指導者は技術指導についてはある一定レベルを指導できる者を持っていると思われる。特に集団(多くの部員)を効率的に指導するノウハウについては学校の先生にはないものがあり、積極的に利用すべきである。問題点・・・民間指導者はサービス業であり、社会性・自己啓発といった教育的観点からのアプローチに難しさがある。茶発・ピアスといったコーチが多いことも事実である。費用が発生してくるので、部費として徴収する金額が増える。(これは仕方のないことである。)問題は顧問の先生が、コーチの来ない時に生徒を指導できるようになる努力をするかどうかである。費用的に毎日コーチに来てもらうわけに行かない。先生が努力をしないとただのテニススクールを学校でやっていることになる。それでも十分効果はあると思うが。
生徒の技術向上を目指すには、まず指導者の研修が必要である。実際にテニスの実技の経験がないと、指導は難しいと思う。ルールや実技の講習会を年間に数回実施して欲しい。
部活動の一環とし、民間テニス事業者との連携等をはかる際、実質的な問題として浮上してくるのは、経済的な問題となってくる。公立高校の場合、家庭の経済状況が生徒によってかなり違うため、できるだけ出費をさけたいのが本音である。従って連携する際には、そのようなことに配慮していただきたい。また、指導者に関しては、生徒のことをしっかりと見つめていける方をお願いしたい。加えてテニスが一生続けられるスポーツであることを生徒にわからせてあげたいと思う。
特に問題はありません! 公教育の中に利益を目的とする事業者が参画することが賛成できない。その理由は勝利至上主義に進み、本来の健全育成に反するから!
学割の制度をとってもらい、格安の入会金、使用料の形態で生徒を受け入れてくれるなら、各県のレベルもより上がることが予想されると思う。
私は大学生時代に民間のテニススクールのコーチをしていました。そこでは夕方は一般のスクール生がやっていますが、夜9時以降などは無料で貸してもらうことができました。夜は少し難しいですが、夕方の部活動の時間に週3回ぐらいコートを借りられればといつも感じています。その場合の負担は学校からもできるだけ出し、民間テニス事業者もそれを汲んで頂ければ素晴らしいなあと思います。どうかよろしくお願いします。
テニス部の顧問を対象とした講習会をやって欲しい。生徒対象の講習会をやって欲しい。
部活動顧問との間で、部活の意義、指導方針、役割分担などを綿密に取り決めた上での協力をお願いしたい。
スクールというのはお金を払って行く所であるが、社会体育としてボランティアのような方向でやってもらえるのであれば、協力してやっていくことも可能かと思われる。スクール、クラブ、部活動、それぞれ目的も違うのでそのあたりをどうやって考えていくかが大切。(うまくいかないやりにくい面もある。)

<p>ソフトテニス部を指導していますが、中学校を卒業すると硬式テニスをやる子もいます。また、スポーツをやめてしまう子もいます。同じ施設が使えるという利点があるのですから、硬式テニスもソフトテニスも区別なく施設が借りられたいと思います。中学校ではほとんどの学校が、でこぼこのグラウンドにテニスコートを作り、野球やサッカーと交代しながら練習しているのが現状です。きれいでテニス専用のコートで練習できれば、また、スポーツに取り組む意識も変わるのではないかと思います。また、我々部活指導者は技術指導だけでなく礼儀、協調性などで人間形成の意義を持ち、部活の指導を日々やっていますので、外部指導者の協力も欲しいですが、その辺の共通理解ができればいいのですが。</p>
<p>ぜひ民間活力を導入してもらいたい。硬式、軟式では基本的なものが違うのでやるならば最初から分けた方が素晴らしい人材が育つ。日本の将来に役立つ。</p>
<p>きちんと整備されたコートでの練習は、校内と異なり緊張感があり、練習効果は大きくなる。しかし、コートの使用には料金があまりに高い。それに生徒を連れて行くにも交通の便、費用でさらにお金がかかる。ましてや指導もお願いすればさらにその費用がかかり、公立校では難しい。</p>
<p>とにかく、料金が低い。(コートを借りる、コーチをお願いする等)</p>
<p>小城市は町のソフトテニスクラブに100名以上の会員があり、非常に積極的に活動している。また、テニスのクラブは近くになく、部活動においても今後新しい種目の部を新設することは難しい。このようなことから小城市中でテニスを盛んにすることは今現在見通しが立たない。</p>
<p>テニス教室等を数多く開くこと。少・中学生の部のPRも(一部の関係者しか知らない)、中学生個人で入部(申し込む)できるような雰囲気がない。つて、コネ、親と一緒に等。</p>
<p>技術指導と同程度、人格形成を重視する方針を持って欲しい。</p>
<p>費用面で部活動として、指導や施設を利用するためには高額である。学校として民間テニス事業者、テニス協会との交流会等(技術、意見)の設定をしてはどうか。</p>
<p>指導者講習会の開催、指導。強化練習会の開催。テニスを普及、楽しむと言うことであれば、市町村あるいはもっと小さな地域での活動が必要であり、国際的にも活躍できる選手の養成と言うことであれば、地域 県 全国という流れの組織(指導)態勢が必要であろう。いずれにしても、学校での部活動、民間(社会)での活動を分けた態勢は(大会等も含め)その垣根は取り払う時代であろう。民間(クラブ)には技術的にも優れた指導者が多いわけだから、大人が(民間、学校区別なく)子供達を一生懸命育てようと言うことが大切である。施設、設備においても、学校はどんどん開放されていくべきだし、公共団体は予算措置を図っていくべきだと思う。</p>
<p>テニス(硬)からソフトテニス、またはソフトテニスからテニスへの移行がスムーズにできるように、何かいい手立てはないだろうか。ソフトテニスの経験が将来役立つようにするには、どうすればいいだろうか。成人してからテニスをするようになった時のことを思うと、そんな気がする。</p>
<p>北海道は冬の間外で練習することができません。テニスクラブのインドアを格安で利用させて頂ければと考えています。上の問いとはあまり関係ないのですが、今年硬式テニス部を作りました。生徒達はとても喜んで練習しています。それゆえ、冬の間練習場所が確保できないのがとても残念です。札幌市内100校のうち軟式の部があるのが女子約70校、男子40校、硬式の部は本校を含めて6校にとどまっています。またその中で、2校はほとんどスクールで個人単位で練習しているとのこと。生徒は確実に軟式よりも硬式に関心を持っています。課題は指導者の不足でしょうか。何かありましたらまた遠慮なく質問して下さい。できる限り協力したいと考えております。</p>
<p>現在は前向きな考えがないが、仮に利用することを考えた場合、利用料金のことや交通手段については、無償にするなどが必要と思う。但しそこを「経営」という視点でクリアできるのかどうか大きな問題と思う。</p>
<p>中学校の場合、ソフトテニス競技数少なく、硬式テニスは民間で行っているのみである。中学校の公式競技にならない限り硬式テニス部(愛好会)はできないであろうと思う。</p>
<p>学校で硬式を部活動として行う場合、ボール代がかなり負担になってきます。民間テニス事業者と連携する場合、そういった面での援助協力していただけると助かります。新潟では一部こうした支援をいただいているところもあります。</p>
<p>地域のジュニアを対象とした強化練習会を企画し、コーチがレッスンに当たって全体のレベルにアップになるよう、中心になって動いて欲しい。</p>
<p>学校が施設を利用する場合大幅な値引きが必要。</p>
<p>部活動は学校教育の中でやるべきで、民間外部指導者等を考えるのなら社会体育として位置づけるべきだと思う。</p>
<p>生徒が利用しやすいように、適切な金額にして欲しい。</p>
<p>現在部活動の大半が、その種目に精通していない教師が、自身で学習をしつつ指導を進めており、生徒指導面での効果が大きい。民間の専門機関での指導となれば、技術、勝敗が第一となり、現在の指導体制とのズレが表面化する。従って、基礎技術指導に主を置いたものでのスタートを望みたい。</p>

<p>テニス人口の底辺を広げることを考えるならば、施設の利用料金等を安くしてもらわないといけないと思う。また、教員の中にも技術指導ができる人がけっこういるが、校務に追われ十分に指導できない現状もあり、民間の方に技術等の指導をしてもらうというのはとてもいいことだと思う。しかし、勝敗にのみにとらわれず、生活面の指導もしてもらうととてもありがたい。(現実に強いチームは礼儀、マナーがしっかりとしている。)</p>
<p>金額を低くおさえてもらいたい。テニスを始めやすくするために巡回や道具を貸し出しがあると新設しやすい。</p>
<p>部活動等学校教育の一環として行われる場合は無償でテニスコートを開放して欲しい。</p>
<p>普及時の活動目的が地域のニーズにあっていること。子供にニーズとしては親子の活動場所としての活用(営利求めず)、青少年育成事業としてのあり方として、健全な青少年育成の目的が失われないような運営を望むと同時に、学校関係者との交流の場として、(例えば学習・研修)活用できると有効かと考える。</p>
<p>現在する部活でも生徒数の減少もあり、今後新しい部活動を作るのは厳しいのでは、もっとPRしてほしい。</p>
<p>一般客の少ない時間帯については、学校のクラブに利用しやすいサービスをやって欲しい。</p>
<p>テニススクール等に通っているジュニアの選手達のマナーや礼儀について、学校(部活動)との相違があるように思われる。大変なことだと思われるが、技術だけでなく、マナー等の指導も必要ではないだろうか。</p>
<p>学校に部活動が位置づいていることが当然という考えもある。しかし、平成10年12月文部省告示による中学校学習指導要領では部活動という言葉すら使用されていない。学校で行わなければならない指導内容がずらりと並んでいる。それだけでも大変なのに他の部活動を現行通り、更には発展させて実施しようとすると無理が生ずる。立派な日本人の育成といったとき、学校が行わなければならないことが山積している。「読み書きそろばん」「それに語学」「心の豊かさ」「体力」等々、学校は部活動を全面的に引き受けたくてもできない状況がある。しかし青少年のスポーツ活動、文化活動は大いにやらせたい。ただ、学校がそれを全面的に実施することに限界を感じている。</p>
<p>費用が高くて現実としてはなかなか生徒が利用できない。</p>
<p>学校での部活動には多くの課題があり、行き詰まりを感じる。また、スポーツもその種類も多く、とても学校で対応は無理。本校ではテニス部を設置しているが、指導は外部コーチにお願いしている。コーチも勤務次第で指導も困難な状態。一時はクラブを設立してその中で活動を考えても見たが、保護者はやはり学校の目の届く範囲での活動が安心という気持ち強い。学校体育から、社会体育へと移行していくことは現状を考えるとそう先のことではない。そういった場合、安心して(指導方針、活動費・・・)活動に参加できるような民間のクラブがあればと思う。事業者の方にお願いであれば、小中学生に健全な成長を促す者として活動を中心的に考えられたクラブの設立や組織化にご支援を願いたい。</p>
<p>テニスクラブ等で個人的にテニスをやっている生徒と学校がどのように関わりを持つか?学校の部活動の一つと見るか?大会等への参加は学校代表としてみるか?学校に部活動としてあれば、積極的活用を考えるとします。</p>
<p>中学校ではソフトテニスが主流。私の知人の中に子供をテニススクールに通わせ、大会等で好成績をあげ高校につなげ活躍している例もあります。個人の動きであれば可能ですが、学校全体として行うには現在様々な条件を整備して行かなくてはならないと思います。一般の方々には硬式を楽しんでいる方が多くいます。中体連との関係はどうなっているのでしょうか。今後中学校並びに中体連にも改革があると思われます。その動向については敏感でいたいと考えます。</p>
<p>民間業者と連携する場合、費用がただでないといけない。有料にしてまで利用することは不可能。硬式テニスは中学生はほとんどしていない。高校生になってから変わる生徒がほとんどである。また硬式の大会も聞いたことがない。(一般の中学校教員の場合テニスに詳しい人は別として)</p>
<p>「民間テニス事業者との連携」と言っても具体的にどのような形で連携できるのかが想像できない。各家庭の意志で民間スポーツ施設に参加することについては、最近増えつつあるが、学校と民間(利益の追求を目的)とが連携することについては困難ではないかと思えます。</p>
<p>ジュニア育ちのプレーヤーはラケットを投げたり審判に文句を言ったりマナーの悪い生徒も見受けられる。この点を十分指導していただきたい。</p>
<p>市内公立中学校内に硬式テニス部が無く、作る気運もないので何とも言えません。</p>
<p>テニスコートが使用しやすいように料金面で考えて欲しい。</p>
<p>学校の施設を利用して一般的な体験スクールなどをして欲しい。</p>
<p>指導者講習会を時々やって欲しい。(低額か無料で)学生は費用を安くして欲しい。</p>
<p>各地域(都市部以外の郡部にも)に地域のクラブ活動として学校の枠にとらわれない組織を作る下地を準備することを協会に期待します。本校がある地域では、ソフトテニス小学生から活発で、テニスは肩身の狭い思いをしていることと、本県ではテニスというとソフトテニスとすぐに考える中学生が多いことなど、それらを解消して、本県と本地域でテニスが盛んになるためにも上のこと望みます。</p>

部活動としてテニス部がないのにも関わらず、民間テニススクールに通う生徒が中体連の試合出場を希望し困ったことがあった。中体連の試合にこだわることなく、テニススクール相互の試合を充実すべきではないか。

学校としての目標と、クラブ（民間）としても目標の考え方の違い（例えば、学校では勝敗以前のことを重視しているのに、クラブでは勝利至上主義をとっているとか。）があり、対立する場合がある。そのため、ややテニス技術（指導方法）が劣る顧問を無視、ばかにする傾向が見られる。高校生にとってはジュニアの試合と同等に高体連の試合も重要である。もし選手と顧問の関係がこじれた場合、高体連の試合に出られなくなる恐れもある。（実際群馬でも起こっている。それも関東ジュニアレベルの試合に出ている選手がある。）学校の部活の顧問は業務上しかたなく引き受ける場合もあるので、テニスに関する知識、技術、指導方法の優劣だけで評価を下して欲しくない。また、高校生は部活だけが生活の全てではないことをクラブ関係者は知って欲しい。私に言わせれば、テニスクラブ関係者（特にコーチ）は視野が狭い。資金面からしても学校からの援助もばかにならないはずである。（特に特待生制度や遠征費）

ガットの張り代や、ボール代など、経費がかかるイメージがあり、民間の施設利用も同様のイメージがある。本県においては硬式テニスがある学校もあるが、指導者の数ではまだまだ数が少ないようである。

中学校では部活動加入率が高く、活発な活動が可能なのは、手軽にできる（費用的に）のが大きな要因の一つです。本校でも大会前などにコートサーファスに慣れる意味で民間コートを使用したことあるのですが、料金的に大変でそれ以降は使用していません。一般的に考えるとそう高価でなくとも部費が十分にあるとは言えないのが現状なので、割引料金になる等の特別なご配慮が頂けると幸いです。

私は中高大とソフトテニス部に所属していました。ソフトテニスの発展を強く願う者です。従って問16の内容はいささか不快な思いがあります。質問の文章はもう少し考えていただきたいと思いました。今、部活動は生徒数の減少により活動は変わらず熱心にやっていく（行かれる）と思いますが、規模は急速に小さくなっていくように思います。特に過疎地では深刻な問題だと思います。その中でこれからの部活動をどのように組織立てていくかが、結構迫ってくる問題ではないかと思います。部活動の数は減らしていかなばなくなるのは、まず避けては通れない問題と考えます。そうしたとき、競技力をいかに維持またはレベルアップさせていくかが大切な課題と考えている次第です。ソフトテニスに携わっていますが、硬式テニスの練習方法（乱打の前には、ショート乱打から入るところ、ドロップショット等）は参考になることが多く注目しています。ソフトテニスの発展を願いつつ貴スポーツ、貴社の益々の発展も祈念しております。

民間テニス事業者や民間テニス事業者と所轄のテニス（硬式）協会等の連携により、地域としてテニス（硬式）が普及するためにご尽力いただきたい。さらに中学校体育連盟への組織としての位置付けが大切だと思います。

いずれは学校の部活動も社会体育へ移行していくでしょうが、まだ地域の受け皿（人材、施設等）が不十分なので、現状では難しいことが多い。国のシステム全体の中でやっていかないと一部だけで行動していくのは難しいと考える。

市の庭球協会や一般（社会人）のチームと連携している。直接学校に案内するよりも協会から来ると生徒にも紹介しやすい。金額や交通費などの関係もあるので、細かく内容や学生割引を提示していただいた方が生徒には説明しやすい。

ジュニア（少・中・高校生）の育成には 時間がかかる 費用を高く徴収できない 礼儀面などの指導がうまくできていない、等の問題があり、経営者（指導者）が教育的かつ長期的な見地から取り組みがなされなければ、生涯スポーツとしての硬式テニスの将来はありえない。選手養成所としての面を出しすぎると、底辺拡大にはつながらず、有名選手を排出しなければ人数が集まらないという二律背反の課題を抱えている。意欲的に楽しむ生徒が育成できればと考えています。小生は県下で三校、部活動としての硬式テニスを作ってきましたが、それぞれの学校で新たに部活動を作ると言うことは並大抵のエネルギーではできません。学校側の理解、地域の理解など複雑なものがあります。第一の理由は全国中体連への加盟ができていないと言うことです。中体連種目になれば公立中学での普及は著しいものが期待できると考えます。

現実的に高校入学後ソフトテニスから硬式テニスに転向した場合は、技術的に県大会出場が最高レベルである。

離島であっても民間施設が設置されることによりテニス人口増へ結びつく。設置を望む。

施設だけでも安価で貸していただけるとうれしい。本校にはコートが1面しかなく部員が15名いるので効果的な練習ができない。

テニスの技術指導だけでなく、テニスというスポーツの特性を生かしながら青少年の健全な人間形成に寄与することをも目的にテニスの指導、普及に寄与されることを期待します。

民間との連携というのは実際には都市部等、一部の限られた地域にのみ可能であると思います。地方や町村レベルの公立中学校においては、いろいろな意味で無理があり、連携を図りたいと考えても、できないのが現状だと思います。もし、このことを解決するのによいお考えがあれば教えて頂きたいと思います。

ソフトテニス主流の中学校では民間のテニスクラブと交流することは今のところ考えられないので、特にありません。

利用料金を安くして欲しい。

<p>本校は特にコートが状況が良くなく（質的にも量的にも）他の施設を利用させていただくことはありがたいことです。交通の便や時間等の問題が解決されればすぐにでも実行したいくらいですが。</p>
<p>学校の部活の場合「人間形成」「生徒の個性の伸長」等が目的になるので、目的を理解の上ご協力をお願いしたい。指導を行う上で、極端な「技術向上」「レベルの向上」「営利目的」での活動、指導になると学校の部活動の目的と食い違ってくるのが予想され部活を運営する上でたくさんの支障が出てくることになる。</p>
<p>民間テニス事業者の中には、以前硬式テニス部のある学校の指導をされている方がいた（無償で）立派だった。中学校に硬式テニスがないのは組織率の問題だけである。軟式よりもグローバルなスポーツであり生涯スポーツでもある。子供達の将来を考えた場合、硬式の方が普及されるべきであると思う。日本の選手が世界のランキングがトップにのぼれないのは底辺があまりにも少ない、狭いからである。</p>
<p>具体的で綿密な打ち合わせが必要です。片方の都合だけではうまくいかないと思われます。</p>
<p>学校は毎年ほとんど素人の1年が入部しそこそこになった3年の春に引退という繰り返してあるが、強くしたいならばやはりキャリアのスポーツと言われるテニスではジュニアでやっていた生徒をいかに引っ張って入学させるかである。ソフトテニスとの違いはそれが中学であるか、民間のテニスクラブであるかの違いである。その点テニスは民間テニスクラブの育成に頼っているところが大きい。教員＝顧問の役割を考えさせられる。その点、ソフトテニスの顧問は自覚があるのではないかとにかく中学まではほとんどの公立にはテニス部はないので民間に頼るしかない。そこで急に学校の部活でとなっても難しいものもある。ジュニアのマナーの悪さも目立つ。中学でソフトテニスが普及してしまった以上、どうしようもないがうまく高校で引き継ぎ、勝利の喜びを部員全員で分かち合えるような部活であれば言うことなし。</p>
<p>現在民間のテニスクラブに部員の内5～6名が通っています。（部員総数22名）近くのテニスクラブがトーナメントクラスのジュニアなどを開設しているので練習時間（部活動）にできるだけ支障の無いようにということでスクールへの入会も許可しています。名前だけの部員は認めていないのですが、そのようなクラブもあるようです。</p>
<p>硬式テニスを現在よりも公立中学に普及したいと考えるのであれば、まず現在ソフトテニスを教えている教員に意見をもっと求めるべきです。私の周りにも硬式の経験者は非常に多くいます。決して硬式テニスを教えたくないわけではない。喜んで指導に加わる先生も多いと思います。民間テニス業者が門戸を開き、教員と手を取って指導していけば、中学生にも広がっていくこと間違い無いと思います。</p>
<p>校外で練習を常時する場合。（例えば、本校では水泳、テニス、サッカー、バドミントン）本校の教育に応じた指導が行われているか実態がつかめない。強化面では一定の効果は認めている。指導面の連携（学校側とクラブ側）と簡単に言うが、なかなか難しい面が多いと考えられる。しかし、これからのスポーツ界は学校外での練習とか学校内においても外部の指導者の導入とか大いに取り入れたいいわゆる開かれたスポーツ界にすべきだと考える。</p>
<p>テニスだけのトップジュニアを育成するテニスクラブが多い。学校や学校の顧問の立場や考え方を考慮して頂き、連携・協力したい。時にテニスをしているジュニア選手はマナー・礼儀に欠けることや、勝敗に対してドライであるという指摘も多い。また、シングルスには力を入れるが、ダブルスや団体戦には力が入らないという選手もよく耳にする。テニスという競技の特性から、個人中心（自己中心）となることも理解できるが、特にジュニア育成に関しては総合的な人間性の育成という理念に根ざした指導を望みたい。</p>
<p>心を育成するという考えが指導者に見られない。中学校との生活指導上の考えが違いすぎなかなか指導者を導入しにくい。技術的な面のみを教えすぎており、サークルやクラブを通して生徒が育ちにくい。指導者にも、青少年の精神（体や心の変化）を理解する技能が身につけている人が少なく、どの部活動でも民間の指導者は受け入れにくい。</p>
<p>本校では現在1名のみが硬式テニスを習っております。大会は山形市で行われる大会に出場しています。これからも色々な面でお世話になることと思います。よろしくお願い致します。</p>
<p>もっとテニスコートを増やして日夜使えるように市営コートの増設を望む。</p>
<p>利用料金が高いことで負担が大きい。指導者がいるのかどうか。一貫して生徒に接することができるのか。大会等を含めた指導ができるのか不安である。</p>
<p>日高市内には総合公園があり、そのクラブに加入している者が県の大会で個人優勝したりしているが、私達の学校からは遠いためそのスクールから大会に参加する者はまだ7年間できていないが、それも大会が県中体連で認められたのもまだ数年しか経っていないと思う。日本のテニス等生涯スポーツも含め発展するには小さい時から学ぶことは大切と考える</p>
<p>生徒の活動としてのレベルでの費用の設定が出来れば、参加できると思う</p>
<p>費用の面で補助が学校から出るかどうかが問題点と思います</p>
<p>ボランティアで活動するのであればお願いしたいが、硬式テニスのためには必要ない。学校でのクラブ活動は社会体育に移っているので、生徒自身が望むならテニススクールに行くと思われる。</p>
<p>まず礼儀やマナーをしっかりと指導してもらいたい。（スクール生のマナーが悪い）</p>

<p>1. 中学校での考えられる問題点(テニスができない現状について)</p> <p>現在中学校に通っている生徒が硬式テニスをやりたいと思った場合次の方法で対応している。学校では文化部に入り、放課後民間のテニスクラブに所属する。他の運動部に入りながら、許される範囲でテニスをやる。中学3年間硬式テニスをあきらめ、ソフトテニスをやる。地域のジュニアでやる。親と一緒にやる。中学校の多くの学校には硬式テニス部がないため、上記の方法しか無くやるのが困難である。学校外での活動がやりにくい、認められにくい(なぜ学校の部活動をやらないのだ)ことが硬式テニスが普及しない一つの理由で、もある。私がソフトテニスと硬式テニスのやりたい方をやらせ活動しようと試みたが、学校長やソフトテニス部の顧問から硬式テニスをやらせようと先導している、ソフトテニスだけをやれと言われ活動できませんでした。現実問題としては高校に行ってから硬式をやる子どもも多く、選択授業でも希望が多い。学校に部活動として硬式があればやらせたいと言ってくる親もいる。やってみたい生徒は多いのが現状ではある。もう一つ、硬式がソフトテニスの敵のような扱いを受けることも問題ではある。</p>
<p>2. 公的部門と、民間部門との連携は可能か?</p> <p>(1) 他の部活動と同等の扱い(内申も関係)にすること。まず上記の(1)がクリアできなければ連携は考えられない。これがクリアできれば十分に連携は可能である。施設面・・・中学校での活動時間はPM3:00~5:30ぐらいである。これを民間のテニスクラブで考えれば結構コートが空いている時間帯でもある。公的機関で少し金額的な補助があれば、民間も有意義にコートを活用できるし、学校としても活動をしていくためのコートの確保もできる。指導者について・・・学校単位で考えると指導者がいない可能性が高いかもしれないが地域で考えていけば必ずいると思われる。また、民間の指導者に技術指導及び、練習計画をアドバイスして貰っていけば活動していけると考えられる。</p>
<p>硬式テニスは中学生の部活動としてはとても難しいと思います。まず、用具が高価なことと、特に安全面(ボールが堅い)ので目に当たった時の事故等)での管理が難しい。専用コートで他の部活と離れて行うことが必要である。硬式テニスの指導は、学校よりも指導者を多くそろえることが出来る民間テニススクール等で希望者を集めてクラブチーム方式で行うと良いと思います</p>
<p>新入生に対して、初期の指導(人数も多いしレベルも様々)と、レベルアップした生徒のもっと技術的な指導が必要な場合、とに困難を感じることは事実だ。年に数回でも学校に来てもらってコーチしてもらいたい気持ちはある。しかし、業者の多くが大学生のアルバイトに指導を任せている現状では信頼感に欠けよう。教育的な配慮が出来る信頼できる指導者がいるのかいないのか、情報がないのが現状である。テニスがすきとか、一流のプレーヤーであったとか、それだけで生徒を指導できるわけではないだろう</p>
<p>生徒にとって技術を身につける段階において、より高いレベルの指導者に見てもらうことはとても大切だと考えている。普段スクールに通うことが出来ない生徒にイベント等でコーチと接する機会を設けて欲しい。スクールでのジュニアオープン大会を開いて欲しい。参加費を500円程度で。</p>
<p>本校ではクレーのテニスコートが2面ありますが、水はけが悪く一度雨が降ると2~3回使えなかったり、日当たりも悪く冬は霜のためにぬかるみ状態で12月中旬~3月初めまで使えません。コンクリートの中庭で男子が活動し、女子は近隣の会社の厚生施設を一時間500円で借りている状況です。そこも土日は使えず午後5時以降は使えません。また、ボール代やラケット、ウェアに加えてコート代もかかるとなると生徒の負担はばかになりません。土日にも安く使える場所があれば良いのですが、また平日の夕方に時間を気にせず使える場所があれば良いのですが、なかなかありません。公共のコートや浄水場の厚生施設、他の民間企業のコート等もお願いしてまわっていますが、なかなかテニス部を取り巻く地域の理解は厳しいのが現状です。テニススクールや貸しコート(民間)は日常の部活をする我々にとってはあまりにも高額で、話にならない状況です。せめて空いている時間帯等に無料か格安で貸していただけるコート(民間でも公共施設でも)があればいつも思っている状況です</p>
<p>本校では軟式テニス部が熱心な顧問の指導の元で練習の成果を十分に発揮しており、市・地区・全道大会において優秀な成績を収めている。指導技術面での支援が今後あれば良いと考えている</p>
<p>軟式の講習等を学校のコートで開いてくれるならば利用してみても良いかなと思います</p>
<p>気安くコートを使えるようにし、愛好者を増やすようにする</p>
<p>本校はテニスコートが校内にないので公共の施設を利用し練習しているが、その施設に大会等がある場合は練習コートを探すのに苦労している。民間のテニスコートを利用できれば良いが費用面で高値であり、部活としては利用できない。何かしらの特典というか割引等があれば助かるし、積極的に利用させてもらえることと思う</p>
<p>技術面の指導もさることながら、礼儀やマナーについての指導にも配慮して欲しい</p>
<p>高校時代の利用費を安くして、卒業後に民間テニスクラブ員となる道を探って欲しい。テニスという競技では学校にとどまらず、社会の中で活動することがこれからの道でしょう</p>
<p>学校指導者との連携が取れる状態が必要</p>
<p>テニス事業者の施設を利用することについては練習の往復時の安全確保が心配であること。施設利用料金が安くないと日常的に利用できないこと。テニス事業者の指導については学校の部の顧問との綿密な連携が必要であること</p>
<p>高校生には格安の料金で施設を貸して欲しい</p>

私は、個人として一教師として、部活動(テニスとは限らず運動部全体)の必要性は青少年を健やかに育てるためには不可欠なものだと感じています。部活動を通し、健康な体を作ること、集団としての規律を作りそれを守ること、同じ目標に向けて心を一つにすること、苦しさを乗り越え我慢する力をつけること、先輩後輩など上下関係の中から正しい言葉遣いや挨拶などを学ぶこと、地域施設の利用などから地域の方たちに感謝の気持ちを持ったり感謝できること、他校との交流や多くの方々とのふれあいを通して人間関係を深めたりマナーを学ぶこと等々。ここには書ききれないくらいたくさんの得るものがあることは事実です。学校の授業や家庭生活では学べない(特に最近家庭の教育力が低下している)たくさん得ることを学べるのが部活動であると確信しています。しかし、毎日6時間授業を終え5時6時まで(大会等が近いと夜練などもやることもある)土日の練習や練習試合等、生徒も私達教師も疲れ果てることも度々です。運動は心身の健康のために不可欠なものですが、時には過熱することで心身に負担を与えることもあるようです。(その問題を、これからどう改善していくかが課題)適切な運動と言うのは難しく、特に個人的な差がありそれに対する個への対応は学校教育では無理があります。家庭、地域、学校の三者が適切なバランスをとり子供を健やかに育てるのはとても難しいことと実感しています。2,002年からは新教育課程に移行し、その中で部活動のあり方も再考されることになりそうですし、地域の方々(体協さんなどに)に放課後の部活の支援の動きなどが入ってくることになると思います。生徒がいて、それを取り巻く大人の連携をうまくさせなくてはいけない難しさはあるのですが、心身ともに健康な人間を育てるために私達大人は頑張らなくてはならないと思います。不登校や非行などない学校作りを目指し、私達は努力をしています。いろいろな場面で支援していただくことになると思いますが、これからもよろしくお願いいたします。

安く常に指導して欲しい。指導法も教えて欲しい

テニス経験がなく部活の顧問をしています。出来れば指導者対象の練習会があればそこで指導していただきたい

大阪中体連テニス部では初心者指導において、夏休みを利用して何ヶ所かで実施しています。低料金で好評ですが、昨年実施してくれたところが今年はないなど、人的・物理的な限界があり、夏休み以外での取組みはなかなか難しいようです。私のような指導員資格を持つ者の研修は行われていますが、学校単位あるいは地域単位での生徒達への講習会がもっと充実すればと思います。特に有名な選手を招いての場合、なかなか難しいけれど何か機会があればと思います

学校部活動外として生徒が個人的に参加することについては何ら問題ない。しかし中学校体育連盟主催の試合に学校に部がない状態で校外のスクール付属ということで出場を希望され、そのため試合引率等の充当を考えることは非常に困る。学校部活動と外部運動団体との関係は少し切り離して考えたい。オーバーラップを考えると指導が難しくなる

部活動では挨拶等の礼儀を教えることが主目的であり、技術を身につけるのはその後と考える。学校における生徒指導を更に推し進めるのが部活なので、民間テニス事業者とは本来の目的が違う。民間テニス事業者が生徒指導まで引き受けるというのなら話は別だが簡単ではないと考える

費用の問題は別として、ソフトテニスの指導をしていただけるのなら民間事業者と連携するのも良い方法だと思います

コート使用料が高額なので、少し考慮して欲しいと思うことがある(屋内コート等設備が充実しているので仕方ない面もありますが)

学校の方針だけでなく、中体連などの組織との差があるので連携は難しいと思う。大きな組織としてうまくやってくれば少しは違ってくると思う。また、何かあれば学校としての責任が必ず問われる。民間事業者と連携していたとしても、今の社会の状況から見れば責任は学校が負うようになる。であれば学校内でしっかり見られる程度の活動になるので、今の状況では難しい

指導はあくまで教員で行うのが望ましいと考えるが、必ずしも指導できる教員がいるとは限らない。またいたとしても諸処の事情で時間的に十分な指導が出来るとは限らない。従って技術的なコーチを時々(例えば週に1回とか2回)やってもらえるような環境が整うと教員も助かるし、生徒も喜んで練習に参加する気になってくれるのではないかと思います

料金等での配慮が欲しい。ボランティアでの技術指導があると良いのではないかと(毎日ではなく週1回程度)

施設が無料で借りられ、練習試合などを民間の人(学校外の強いチームと)と、どんどんやっていきたい。

高校入学後も「テニスを続けたい」と考えている者の2/3は高校の硬式テニス部へ入部しています(軟式があっても)。静岡県東部地区においては、中学校に硬式テニス部がある学校はないと思われます。本当に硬式テニスをやりたい子は民間のテニススクールに入っているようです

公共のテニスコートに比べて使用料が高く、また会員制になっているところも多く、一般利用がしづらい面もある。

料金を低価格に。受講クラスの時間をフレックスに。生徒が行くだけでなく、指導者(民間コーチ)が学校側への出向を。青少年の場合は教育面を全面にその上での競技力向上を。

テニスの普及を図るには、施設をもっと利用しやすくする必要がある(民間のものも手軽に利用できる)と思います。

中学校の部活動は、生徒の健全育成のために非常に大切な分野である。

利用しやすい料金設定をすること。インドアコートの増設。高校生にも参加しやすい大会の開催

今後の週休2日制の完全実施等を考えると、民間テニススクール等が週末に中高生を対象として練習会等を定期的に開けば、技量の一定の向上が望める。ただし、料金面で安価でないと参加者は増えないであろう。さらに、希望する学校に週1~2回程度指導者を派遣して、各学校の実態にあった指導を行うシステムが出来ればかなりの底辺拡大になると思われる。ただ、やはり費用面等で今現在は難しいことが多いようです

学校テニスの目的は日々の活動や試合を通して人間的に成長したり、多くの友人を作ることで、技術的な上達や試合での勝ち負けを強調することではない。弱いからかな?そこがスクールの方々が十分理解してもらえているか疑問。

我が部では他のメンバーとレベルに差があり、より高いプレーを目指しての民間クラブ活用や、夜間照明等学校の施設・設備が不十分なための民間クラブ活用など個々人の考えや経済面を考慮したい応しているが、部活動が学校教育の一貫として教育的見地から人間育成を目指している(そうではない例も多いが)のに対し、民間クラブはまず利潤(経営)が中心にある以上、技術面以外は個人にまかせいわゆる「ジュニア」のわがままが通る世界になっていると考えられる。また、心あるコーチがジュニアの育成に心を砕いて、人間的な成長をも併せて願っていても、民間クラブに出入りする他の一般会員(大人)が成長途上のジュニアに対し、悪い教育・感化を与えている例も少なくない。民間テニス事業者に望むことは「ジュニアはまだ子供である」という当たり前の意識を持ってもらい、技術だけではなく、テニスを通して人間性を育てて欲しいと言うことである。施設や料金等については、経営の問題であるので、こちらがとやかく言う問題ではないと考える。市町村の施設には言いたいことが多数あるが、民間テニス事業者には存続をかけて頑張ってもらいたいと思う。

恒常的に部活動として高校生が利用するには料金面で問題があります。高校生は学業との両立を求められますので、日常生活全てがテニス一色の人に対応されると困ります。民間事業者に高校生が守るべき社会規範の指導を期待することは難しい状況があります。本当に強くなりたいのなら、学校内の部活動の範囲内では非常に困難な状況です。

一番の理由は試合相手(対戦校)がないと言うことだと思います。中体連への設立や団体戦としてのルール整備など課題はたくさんあると思います。一般の方々が気軽に硬式テニスを楽しんでいることを考えれば、「ぜいたく」とか「近寄りたくない」という意識はありません。

中学校のほとんどがソフトテニスであり、硬式となれば新たに部を設置するというのは難しい。近くにそのような設備もないので、連携等ではできないし関心も高くない。

問25には関係ありませんが、個人的な意見を書きます。私自身現在県のテニス協会ではジュニアの強化やキッズテニスの普及活動をしたり、自分のよく行くテニスクラブでジュニアの指導をしています。部活動でもテニス部を作り指導できたらと思いますが、部を新設するのは難しいです。現状では数年前に、和歌山県の中体連が発足しましたが、伊都郡内で公立中学校の部がなく、高校にもテニス部が少ないです。また、生徒数が減少し、サッカー、バレーボール(男子)、ソフトボール部等団体競技の部員確保が難しくなっている中、部の存続を考えていかなければいけない中で、テニス部を新設することが大変困難であることをご理解頂きたいと思います。

我が校のテニスコートの設備があまり良い状態ではないので、放課後の時間帯でコートを開放していただけるのなら、積極的に利用させていただきたい。また、生徒に対する指導も、プロのコーチの目で詳細にチェックしていただきたい。

部活動とかクラブということにこだわらず、「硬式テニス」の普及は大いに行うべきだと思う。(紹介・PRなど)できるのなら学校に足を運び、ソフトテニスの指導に当たってくれた上で、ちょっと硬式テニスに触れさせてあげるような。もちろん指導はボランティア。顧問と連絡を取り合ったり、高体連の専門委員長(地区委員長)等にも連絡を取り合ってもらってその子達が将来(高校で)硬式テニスをやってみようと思える気持ちを育てることが大事だと思う。

受益者負担でよいと思います。放課後に数日通うことがよいと思います。良い意味で縦のつながりもできるのではないのでしょうか。バス等でまわることも必要だと思います。あくまでも個人的意見としてアンケートを記入しました。

学校、部活動単位ではなく、個々の扱いで利用するように働きかけるべきである。特に中学生の場合は、義務教育の範囲であり、難しい面もあります。また、2000年度より文部省の方針では部活動は学校教育外ということもあります。子供達の活動の場づくりとして、各種施設が利用しやすくなることを望むと同時に、学校に依存する時代は終わったのではないかという気持ちがあります。年々、学校内では指導困難なことが増えてきています。

全てを民間に依頼すると、生徒会活動という教育の中での活動が消えてしまい、町のスクールという型になってしまう。一番問題なのは顧問(教師)と生徒との触れ合いがあり、生徒のレベルアップは望めるだろうが、全ての面での依頼は難しいと思う。しかし、週に何回、月に何回という割合だと非常に有効であると思う。特に専門の指導者、施設は魅力的である。県立高校の施設の悪さが非常に問題である。2面中1面でもナイター設備が強く欲しいと感じています。

基本的には学校が関わるのではなく、あくまでも営利を目的とする民間テニス事業者塾や習い事と同様にとらえているので、今ひとつ積極的に賛同できかねないものと思われます。これからこのような地域青少年支援の方法が広まりどこかで成功をおさめたという例がたくさん出てくると、考えも変わると思います。

午後4時から7時までには生徒に開放してほしい。日・休日は、時間(2時間)を設定して生徒達に利用させてほしい。アンケートの発送、遅れまして誠にすみませんでした。

硬式テニス経験者とし、競技人口の減少は寂しく思っています。地元ではスクールも閉鎖され、公共コート以外の民間コートはほぼ全滅しました。テニス部のある学校に転動したら頑張ろうと思っていますが、マスコミがテニスをもっと扱ってくれるかどうか競技者を増やす手軽な方法かと思いますが。

愛媛県においては、テニス部がある学校ではどの学校も顧問の教員中心に活動がなされているが、数校では民間コーチの指導も受けているのが現状。部活動における教育的効果を重視する場合、顧問の教員の方針を十分理解した上で、テニス事業者は協力をするという形を取るべきで、民間テニススクールに所属して活動している選手が試合の時だけ学校単位で集まるのは本末転倒だと考える。

技術的な指導よりも、テニスを通じて生活面の指導を大切にしたい。(あいさつなど)

大分県は特にソフトテニス部しか中学校にはないので、仕方なくソフトテニスを指導しているが、生徒のほとんどが高校で硬式テニスをしたがっていて、中学3年間のソフトテニスが無駄である。まして南大分中の場合、ソフトテニスで県1位、九州、全国大会レベルの生徒がたくさんいるので、中学に入学してすぐに硬式テニスができるのであれば高校一大学でのレベルアップは確実であると思う。その為には中体連などに硬式テニス加盟できるように民間テニス事業者にも協力してもらいたい。また施設も利用させてほしいです。とにかく大分の場合、中学にソフトテニス部しかなく高校には硬式テニス部が大半を占めるので、中学一高校の連携が全く取れないでいる。

生涯スポーツの観点から、活動の機会を広げ自ら楽しむスポーツづくりとして連携の意義は大きいと思います。一方本校のような小規模校、さらには交通や施設設備の不便さから、生徒の自主活動にゆだねているのが実状です。自校だけの条件整備では難しく、自治体のスポーツ事業と連携して進めることが大切であり、その際の強力な支援者になっていただければ幸いです。

滋賀県下に硬式の部(中体連)がなく、高校へ進学後も部としての指導者がいない。生徒がスクールへ行き、テニスをする事は小中高と指導の体制が整っており良いことだと思いますが、中体連、高体連に硬式の指導者(教師)が育っていない現状では軟式の方が部としては生徒に効果的だと思います。硬式の連盟の方にもっと中体連や高体連に熱心にはたらきかけて指導者を育てて硬式の部を作っていただきたい。

施設利用の高さがテニスを志す者にとってネックになっている。しかし、高校スポーツの中の「テニス」にあって、今ひとつ裾野が広がらないのはやはり何といても「テニス部」がある中学校がほとんど皆無である事実にあると思う。中学校でソフトテニスを実践を持つ多くの生徒が、高校で同じスタートラインから始めるテニスよりもやはりソフトテニスを選択するのは極めて当然の事実だ。テニス関係者全体がもう少し、中学校段階における部活動で「テニス」を位置付け、それに民間テニス事業者が施設や指導面で関与できる態勢作りを願う。

コート代をもっと安くしてほしい。

特にありません。但し、生徒の中には、テニススクールへ行きテニスをやっている者はいます。また、樽俎関係で各種大会に出場している者はいます。その場合、学校の部活動では学校の中にある部活動に入り、支障のない範囲で活動をしています。側面的にそれを支援している現状であります。

まず、施設利用において、公営のコートに比べて大変料金が高すぎる。高校生のお小遣いの中で利用できる料金設定(学割等)をしていただきたい。インストラクターの資質の向上をしてほしい。技術指導だけでなく、人間教育もできるような人材を確保してほしい。

問2で積極的に連携はとりたいものの、現実問題として金銭の問題がある。民間事業者はやはり利益目的であるから、学校が民間を利用できるほどの予算はない。民間事業者は学校の財政上の問題も考えていただき、ボランティアとまではいかないが、格安でテニスの普及、そして日本テニス界のレベルアップも考えて、学校と連携を取ってほしい。民間側からも積極的に学校へアプローチをお願いしたい。

中体連に硬式テニスが種目として入っていない現状では、部活動等として青少年育成を行っていくことは困難と思われる。個人的、または趣味としての活動に限定されてしまうのではないのでしょうか。

民間事業との連携という観点だけでなく、公立学校として、生徒引率をどのようにしていくかによっても、部を作れる作れないに影響があるのが現状だ。また、部活動は外部に施設があればよいという単純なことではなく、人間関係(教科や学級、委員会等)と部活動全てが学校教育という考えに基づいているため、普及には難しいものを感じる。同じスポーツをしているのだが、民間と学校では目的が違うと思う。

学校という公的な機関が利用するためにはやはり「教育的な配慮」が十分であることが大前提となる。費用の面然り、指導方針また然りである。この点がクリアされていけば、これからの時代その連携は大いに必要となっていくと考える。

インターハイでのテニスの不祥事が問題になった。教員以外の指導者着くと、どうしても金銭面のトラブルがあったり、教育的な指導を除いた勝利至上の考えになりがちで心配である。

中学校では少ない予算で部活動を運営しており、民間事業者との連携は金銭面で問題がある。また、大会等には必ず教諭の引率が義務づけられており、小規模校などでは、引率等をする教諭の確保が難しい。